第6次嵐山町総合振興計画

検証結果

(令和5年度)

令和6年11月

本検証結果の表示について

本検証結果は、第6次嵐山町総合振興計画における目標に対し、どのように達成したかを公表するためのものです。

様式については、下記のとおりとなっています。第6次嵐山町総合振興計画の全体の目標管理をするため、10年間の実績と決算が示せるようになっています。

決算額の下は、『実施したこと』、『効果があったこと』、『課題として残ったこと』を記載しました。これについては、当該年度(本年の場合は令和5年度)に対する実績を記載しています。

◇検証結果の見方

●第2節 ひとを育み、学び楽しむまちづくり

◆2-1. 子育て支援

2-1-(1) 子育て支援・保育サービス

総合振興計画の各施策が記載されています。

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1.	指標の内容	地域子育て支援拠点の利用者数				
	現状値	R1年度 4,806人 / 年		目標値	R7年度 5,700人 / 年 R12年度 5,700人 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		..	..	..	..	..
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
		..	..	..	..	..
指標の内容	子育て世代包括支援センターの利用者数					
現状値	R1年度 4,055人 / 年		目標値	R7年度 4,500人 / 年 R12年度 4,500人 / 年		

指標の内容と現状値(令和元年度)、令和7年度(中間年度)と令和12年度(終了年度)を表示しています。

各年度の実績値が10年間分記載されています。

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1.	地域子育て支援拠点運営事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			..	..	..	..	..
			R8	R9	R10	R11	R12
			..	..	..	..	..
			R3	R4	R5	R6	R7
			..	..	..	..	..
2.	保育所保育事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			..	..	..	..	..
			R8	R9	R10	R11	R12
			..	..	..	..	..
			R3	R4	R5	R6	R7
			..	..	..	..	..

各年度の決算額が千円単位で記載されています。

【実施したこと】

↵

↵

【効果があったこと】

↵

↵

【課題として残ったこと】

↵

令和3年度に実施した事業についての振り返りが記載されています。

目 次

●第1節 協同のまちづくり	1
◆1-1. コミュニティ・協同	1
1-1-(1) 地域コミュニティ・ボランティア活動	1
1-1-(2) 定住促進	3
1-1-(3) 情報共有	9
◆1-2. 人権・平和	11
1-2-(1) 人権意識	11
1-2-(2) 男女共同参画	12
1-2-(3) 平和と国際化	13
●第2節 ひとを育み、学び楽しむまちづくり	15
◆2-1. 子育て支援	15
2-1-(1) 子育て支援・保育サービス	15
◆2-2. 学校教育	17
2-2-(1) 幼児教育	17
2-2-(2) 確かな学力・豊かな心・健やかな体	18
2-2-(3) 学校教育環境	21
◆2-3. 社会教育・文化・スポーツ活動	25
2-3-(1) 生涯学習活動・文化・芸術活動	25
2-3-(2) スポーツ活動	28
2-3-(3) 文化財	29
●第3節 健康で互いに支えあうまちづくり	32
◆3-1. 健康づくり・医療	32
3-1-(1) 健康づくり	32
3-1-(2) 母子の健康づくり	37
3-1-(3) 地域医療	37
◆3-2. 地域福祉・社会保障	39
3-2-(1) 地域福祉活動	39
3-2-(2) 社会保障制度	40
◆3-3. 高齢者福祉	41
3-3-(1) 高齢者の生きがいづくり	41
3-3-(2) 介護保険制度	48
◆3-4. 障害者(児)福祉	49
3-4-(1) 障害者(児)福祉	46
●第4節 自然とともに生きるまちづくり	50
◆4-1. 自然環境と公園・緑地	50
4-1-(1) 里地・里山・河川の保全と活用	50

4-1-(2) 緑化活動の支援・公園の整備・管理.....	51
◆4-2. 持続可能な循環型社会	53
4-2-(1) 環境美化・環境保護	53
4-2-(2) ごみの適正管理	55
4-2-(3) 公害防止対策	58
◆4-3. 上下水道.....	59
4-3-(1) 上水道施設.....	59
4-3-(2) 生活排水処理施設.....	60
●第5節 安全・安心で活力あるまちづくり.....	63
◆5-1. 安全・安心なまちづくり.....	63
5-1-(1) 交通安全対策	63
5-1-(2) 防犯対策・消費生活	64
5-1-(3) 消防・防災.....	66
◆5-2. 計画的なまちづくり.....	69
5-2-(1) 地域の個性あるまちづくり.....	69
5-2-(2) 道路整備.....	71
5-2-(3) 公共交通	73
◆5-3. 産業.....	75
5-3-(1) 農林業	75
5-3-(2) 商業.....	77
5-3-(3) 工業.....	79
5-3-(4) 観光.....	80
●第6節 推進方策.....	83
◆6-1. 行財政運営	83
6-1-(1) 行政サービス	83
6-1-(2) 健全な財政基盤	86

●第1節 協同のまちづくり

◆1-1. コミュニティ・協同

1-1-(1) 地域コミュニティ・ボランティア活動

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	行政区の自治組織への加入率				
	現状値	R1年度 73.7%		目標値	R7年度 77.0% / R12年度 80.0%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		71.4%	72.5%	71.2%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	嵐山まもり隊登録人数				
	現状値	R1年度 259人		目標値	R7年度 280人 / R12年度 300人	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		283人	250人	275人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
3	指標の内容	ボランティア登録数				
	現状値	R1年度 団体 38団体 / 個人 20人		目標値	R7年度 40団体 / 25人 R12年度 40団体 / 30人	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		団体 30団体 個人 12人	団体 20団体 個人 7人	団体 20団体 個人 5人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
4	指標の内容	ボランティアの活動回数				
	現状値	R1年度 611回 / 年		目標値	R7年度 620回 / R12年度 630回	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		224回	153回	238回		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
5	指標の内容	町政モニター登録数				
	現状値	R1年度 34件		目標値	R7年度 50件 / R12年度 100件	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		44件	49人	50人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	行政区運営推進事業	地域支援課	R4	R5	R6	R7	R8
			20,115	20,242	20,501		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	コミュニティ推進事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			7,133	2,032	2,227		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	嵐山まもり隊支援事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			180	313	350		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	地区集会所等補助事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			1,338	1,617	844		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	ボランティア活動支援事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			0	0	1		
			R8	R9	R10	R11	R12
6	広聴事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			8	6	30		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・「区が抱える課題」について区長会で意見交換会を実施した。そのなかで、自治会加入率の低下についても多くの区の課題として挙げられた。(地域支援)
- ・地域の实情にあったコミュニティ活動が行えるよう、申請のあった16団体に対し支援を行った。内訳は、令和3年度より地域コミュニティ事業となった花いっぱい活動と合わせて実施する団体が9団体、花いっぱい活動のみ実施する団体が1団体であった。(地域支援)
- ・平成27年度より開始した草の根的なボランティアである嵐山町まもり隊については、24団体275名が公園や道路などの環境美化活動を行った。(地域支援)
- ・ボランティアについては、個人5人、団体20組の登録があり、希望者へ保険加入をサポートした。(生涯学習)
- ・コロナ感染症が5類に移行し、ボランティア活動は回復しつつあり、各団体が活動を行った。(生涯学習)
- ・町の事業である七つの祝い式典において、手作り記念メダルをボランティアで作成していただき、参加者に配付した。(生涯学習)
- ・町政モニターに対し、電子申請を活用し、アンケートを実施した。(地域支援)
- ・アンケート方法について、町政モニター制度要綱を廃止して、町のLINE登録者へアンケートを送付す

る方法へ変更をした。(地域支援)

【効果があったこと】

- ・ 区長会でグループごとに意見交換を実施し、他の区の課題や情報の共有をすることができた。さらに、出された意見は庁内の関係課局に情報共有し、現状で可能な対応等についてフィードバックした。(地域支援)
- ・ まもり隊については、昨年度より登録数が増え意欲的に活動いただいた。とくに除草作業等の活動が活発であり、必要物資の要請が増加した。結果、地域の環境美化の維持につながった。(地域支援)
- ・ 町政モニター募集を行った結果、新たに 1 人から応募があった。町政モニターより「ホームページリニューアル」について意見をいただくことができた。(地域支援)

【課題として残ったこと】

- ・ 自治組織への加入率については、令和 3 年度 72.5%、令和 4 年度 71.2%、令和 5 年度 69.7%と微増微減となっているが、地域では、引き続き転入世帯等の加入促進、さらに高齢者世帯の自治会離れも問題となっている。(地域支援)
- ・ 地域では、高齢化などにより区長をはじめ、役員の担い手不足が課題である。町からお願いする区推薦の役員については業務内容を精査し、負担軽減を図っていききたい。(地域支援)
- ・ 区長の任期については、防災や地域コミュニティの活性化など地域力向上のため、2年としていただくことが長年の課題である。区長の任期が全地区において2年となるよう今後も協力を求めていく。(地域支援)
- ・ コミュニティ活動については、補助制度の手続きの煩雑さ等が代表者の負担となっていることから、支援方法の見直しを検討していききたい。(地域支援)
- ・ ボランティア登録者の高齢化、コロナ禍に影響を受けて人数の急激な減少・活動の縮小が進んでいる。ボランティア活動を継続させるためにも幅広い層にボランティア登録を呼びかける必要がある。(生涯学習)
- ・ 嵐山町まもり隊の団体数を増加させるため、引き続きまもり隊の活動についてPRしていく必要がある。(地域支援)
- ・

1-1-(2) 定住促進

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
	指標の内容	町内総生産額				
1	現状値	H29 年度 85,652 百万円(R1 年度発表)		目標値	R5 年度 90,000 百万円(R8 年度発表) R10 年度 92,000 百万円(R13 年度発表)	
	実績値	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
		94,388 百万円 (R6 年度発表)	—			
		R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度

No.	目標値と年度別実績					
2	指標の内容	納税義務者数				
	現状値	R1年度 8,276人		目標値	R7年度 8,500人 / R12年度 8,600人	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		8,387人	8,455人	8,451人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
3	指標の内容	転入者数の増加(社会増減累計)				
	現状値	R1年度 329人増 (H28~R1年度)		目標値	R7年度 200人増 (R3~R7年度) R12年度 120人増 (R8~R12年度)	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		41人減 (令和3年度発表)	77人増 (令和4年度発表)	147人増 (令和5年度発表)		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
4	指標の内容	合計特殊出生率				
	現状値	R1年度 0.87		目標値	R5年度 1.13 (R7年度発表) R10年度 1.18 (R12年度発表)	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		0.87 (令和元年度発表)	0.97 (令和2年度発表)	0.85 (令和3年度発表)		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	担い手育成嵐丸塾運営事業	農政課	R3	R4	R5	R6	R7
			1,640	2,040	110		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	企業誘致事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			18,227	5,747	27,672		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	子どものための教育・保育給付事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			385,188	387,210	384,356		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	高齢者就業促進事業	長寿生きがい課	R3	R4	R5	R6	R7
			17,009	11,396	11,400		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	武蔵嵐山駅西口地区整備事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			81,143	53,830	194,733		
			R8	R9	R10	R11	R12
6	観光地域づくり法人推進事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			66,728	80,000	—		
			R8	R9	R10	R11	R12
7	観光総務事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			188	140	158		
			R8	R9	R10	R11	R12
8	子ども・子育て支援事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			4,719	4,940	5,628		
			R8	R9	R10	R11	R12
9	母子予防接種事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			26,861	31,228	31,724		
			R8	R9	R10	R11	R12

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
10	不妊治療支援事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			359	60	30		
			R8	R9	R10	R11	R12
11	地域活力創出拠点管理事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			5,191	4,849	8,641		
			R8	R9	R10	R11	R12
12	地域商業等活力創出支援事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			100	500	1,400		
			R8	R9	R10	R11	R12
13	空き家等管理事業	環境課	R3	R4	R5	R6	R7
			27	1,131	4		
			R8	R9	R10	R11	R12
14	交通安全施策推進事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			405	414	379		
			R8	R9	R10	R11	R12
15	幹線道路整備事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			28,368	20,362	5,636		
			R8	R9	R10	R11	R12
16	生活道路整備事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			5,398	27,003	2,913		
			R8	R9	R10	R11	R12
17	防犯対策事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			759	909	4,133		
			R8	R9	R10	R11	R12
18	観光協会補助事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			—	—	15,100		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・観光農業の推進を図るため、嵐山町観光協会と協力し「らんざんラベンダーまつり」を開催した。開

催期間 6 月 9 日～6 月 25 日（企業支援）

- ・観光客が年間を通じてラベンダー園に来ていただけるよう、ラベンダー園の一部にポピーや千日紅を植栽した。（企業支援）
- ・ラベンダーまつりの収益性を確保するため、摘み取り体験料の値上げ、シャトルバスの運行、生花の販売、子供料金の徴収等を行った。（企業支援）
- ・町民のシビックプライド醸成のため、まつり終了後に町民対象の摘み取り体験イベントを実施したほか、町民の方がラベンダー園の一部エリアでラベンダーを育てるマイラベンダークラブの運営管理・新規募集等を行った。（企業支援）
- ・住民参加のボランティアとして町の観光名所等を紹介し、維持管理に協力する嵐山町観光応援隊を結成した。（企業支援）
- ・ラベンダー園周辺の嵐山溪谷や親水公園、らんざん都幾川学校橋広場の美観維持のため、定期的な除草作業を行ったほか、パンフレットや SNS 等で観光資源の周知を図った（企業支援）
- ・せっけん製造会社とコラボレーションし、ラベンダー精油抽出の副産物である芳香蒸留水を使用したラベンダーハンドソープの商品開発を観光協会と協力して進めた。（企業支援）
- ・花見台工業団地拡張地区において、事業推進のため県企業局、庁内関係機関及び地元権利者等と必要となる調整を行った。（企業支援）
- ・川島地区における組合土地地区画整理事業の設計に向けて業務代行予定者と連携し関係機関等との協議・調整を行った。（企業支援）
- ・創業を考えている、また開業して間もない方を対象にらんざん創業塾を開催し、令和 5 年度は 6 名の参加があった。（企業支援）
- ・商工会と協力し、嵐山町空き店舗等活用事業費補助金の活用を図った。（企業支援）
- ・駅前の 5 店舗が加入する嵐山町商店会が新たに組織された。（企業支援）
- ・昨年実施していた企業就職説明会を発展させ、当日に採用面接も実施できるよう、ハローワーク・埼玉県と協力し、嵐山町企業就職相談会を開催した。（企業支援）
- ・嵐山町ステーションプラザ「嵐なび」において、観光協会作成グッズ、町特産品、杉山城御城印、ラベンダー製品等の販売を行った。（企業支援）
- ・水辺アクティビティを実施する河川区域を商業利用するため、河川利用調整協議会を開催し、都市・地域再生等利用区域の指定変更要望書の提出について承認を受けた。また、事業実施のための船着場の整備を埼玉県に依頼するため、槻川水辺 de ベンチャーチャレンジ事業計画書を提出した。（企業支援）
- ・「嵐山溪谷紅葉まつり」を 11 月 25・26 日に開催した。（企業支援）
- ・嵐山町エリアリノベーション支援事業は 4 年目となった。町のエリアリノベーション事業を継続して推進する意思のある個人 2 名の方より提案企画書に基づくイベントが開催され、支援を行った。イベントの内容は、武蔵嵐山駅連絡通路でマーケット 5 回、菅谷公園にて親子フリーマーケットを 2 回開催した。また東京電機大学の助教を講師に迎え講演会を 1 回開催した。（まちづくり）

【効果があったこと】

- ・「肉汁うどん」（干しめん）は、駅や直売所だけではなく、パーキングエリア（嵐山 PA、高坂 PA、羽生 PA）でも販売されるなど、多くの方に PR することができ、2,000 箱が完売となった。（企業支援）

- ・「らんざんラベンダーまつり」に 32,740 人の来場者があった。入場料、駐車場、摘み取り体験、手芸教室、お土産品等（ラベンダー開発商品・肉汁うどん等）による収入があったほか、イベント会場に 25 事業者が出店し、嵐山町観光協会会員及び嵐山町商工会会員に対しても稼げる場を提供することができた。また町民のシビックプライド醸成の一助となった。（企業支援）
- ・ラベンダーまつりの来場者の増加、収益性が向上したことにより、収支が 329 万円の黒字となった。（企業支援）
- ・町民対象のラベンダー摘み取り体験イベントに 62 名が参加したほか、マイラベンダークラブ会員及び一般町民対象に、ボトルフラワー作り教室、挿し木教室、手芸講師養成講座を開催した。（企業支援）
- ・嵐山町観光応援隊に 18 名が参加し、草刈作業や観光施設運営補助等を行った。（企業支援）
- ・ラベンダーハンドソープの商品開発に向け、まつり後に収穫したラベンダーより抽出した芳香蒸留水及び観光協会が保有するラベンダー精油をせっけん製造会社に販売した。（企業支援）
- ・花見台工業団地拡張地区において、県企業局による造成工事が進捗している。（企業支援）
- ・川島地区における組合土地区画整理事業の設計に向けた調査等が進捗している。（企業支援）
- ・菅谷地内において、ドラッグストアが立地し操業が開始された。（企業支援）
- ・嵐山町空き店舗等活用事業費補助金を 2 事業者（新規創業者を含む）に交付し、駅前の空き店舗の活用が図られ、賑わい創出の一助となった。（企業支援）
- ・嵐山町商店会が、商工会を介して駅周辺にある町有地を駐車場として借り上げ、買い物客の利便性を高めることができた。（企業支援）
- ・らんざん創業塾の受講者より、2 名の創業者が起業した。（企業支援）
- ・嵐なびにおける委託販売先が増え、12 会員の商品を販売している。（企業支援）
- ・水辺アクティビティについて、都市・地域再生等利用区域の指定の変更の許可を受けた。また、槻川水辺 de ベンチャーチャレンジ事業計画書を提出し、バーベキュー場上流の飛び石付近に船着場が整備された。（企業支援）
- ・「嵐山溪谷紅葉まつり」に 2,707 人の来場者があった。多くの方が嵐山溪谷の紅葉を満喫したほか、イベント会場での食事や買い物を楽しんだ。（企業支援）
- ・昨年の企業就職説明会を発展させ、当日の採用面接を可能としたことにより、企業と求職者のミスマッチが解消された。10 企業、27 名の求職者が参加し、最終的に 5 名の採用につながった。（企業支援）
- ・町のエリアリノベーションの実現に向け、まちのプレーヤー発掘や支援を行い、イベント等が実施され、「ちょっと楽しい、ちょっと面白い、ちょっと心地よい」まちへと進むことができた。（まちづくり）

【課題として残ったこと】

- ・嵐丸塾卒塾生の経営が安定するまでのフォロー及び新たな塾生の確保が必要である。（農政）
- ・小麦の生産面積は、乾燥調製、製粉対応が可能である最大量の 13.8ha となっている。今後、協賛店からの需要に応じた小麦の生産及び提供が課題となっている。（農政）
- ・水辺アクティビティの実施に向けた基盤が整い、事業実施に向けて観光協会による具体的な運営方法の検討を進める必要がある。（企業支援）
- ・ラベンダー園運営について、今後も引き続き観光協会と連携を密にし、ラベンダー事業全体の黒字化

を目指しつつ持続可能な事業展開が求められている。(企業支援)

- ・嵐山渓谷周辺において引き続き良好な自然を堪能できるよう、遊歩道等を適正に維持管理するための財源確保が課題である。(企業支援)
- ・花見台工業団地拡張地区については、造成工事完了とその後の企業立地に向けて県企業局と一層の連携が求められる。(企業支援)
- ・川島地区については、設計に向けて業務代行予定者と連携し関係機関等との協議を進めて行く必要がある。(企業支援)
- ・新規創業を助成していた小規模事業者等販売促進支援事業費補助金は、国によるコロナ対策補助を活用した事業であったため、令和5年度で終了した。支援の継続性が課題となっている。(企業支援)
- ・嵐山町企業就職相談会への更なる求職者の来場が課題となっている。(企業支援)
- ・「Emo-Town. Pro#らんざん」プロジェクトでは、令和6年度以降も継続的なイベントが実施され、「ちょっと楽しい、ちょっと面白い、ちょっと心地よい」エリアの醸成が目的である。また、本事業は民間事業者が主導し、原則、補助金に頼らず、自らの資金で魅力的なエリアを創出することとしており、エリアプロデューサーの発掘や育成が課題となっている。(まちづくり)
- ・支援を必要としている家庭が増えてきており、相談業務やケースワークに携わる人員確保が課題となっている。(福祉課)

1-1-(3) 情報共有

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	広報に対する満足度				
	現状値	R1年度 41.6%		目標値	R7年度 50.0% / R12年度 60.0%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		—	—	—		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	ホームページのヒット数				
	現状値	R1年度 167,010件 / 年		目標値	R7年度 180,000件 / 年 R12年度 200,000件 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		252,423件	240,294	212,765		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
3	指標の内容	公式ツイッターのフォロワー数				
	現状値	R1年度 1,263人		目標値	R7年度 2,000人 R12年度 3,000人	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		1,801人	2,262人	2,651人 (R6.8.31現在)		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	広報紙発行事業	地域支援課					
			4,341	4,293	5,254		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	ホームページ運用管理事業	地域支援課					
			1,271	1,271	2,148		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	情報発信事務事業	地域支援課					
			763	762	763		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	情報公開・個人情報保護推進事業	総務課					
			0	0	0		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	ファイリング事業	総務課					
			117	109	151		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・ ツイッターや広報紙、ホームページ、駅のデジタルサイネージなどを活用し、年間を通して生活に必要な情報や町の魅力を発信した。(地域支援課)
- ・ 町政モニターを廃止し、より多くの町民から回答を得られるよう、LINE アンケートを利用することにした。(地域支援課)
- ・ 広報嵐山の表紙について、多くの町民の目に留まり、手に取ってもらえるよう、カラー表紙にした。(地域支援課)
- ・ ホームページのリニューアルを行った。検索性を高め、目的の情報に速やかにたどり着けるよう、トップ画面のアイコンを減らした。(地域支援課)
- ・ ファイリング事業において、永年保存文書の保存期限を大きく見直し、永年保存文書を大幅に削減した。(総務課)

【効果があったこと】

- ・ ツイッターを活用し、積極的に嵐山町の魅力を発信したことでツイッターのフォロー数が ~~261人~~ 389人 (R4 年度末～R6. 8. 31) 増加した。(地域支援課)
- ・ 書庫にある永年保存文書を削減したことで、事務室内に仮保存されていた文書は、すべて書庫に保存できるようになった。(総務課)

【課題として残ったこと】

- ・ ツイッターを活用する課に偏りがある。全庁で活用ができるよう各課への呼びかけや研修を行って

く必要がある。(地域支援課)

- ・現在 SNS ツールとしてツイッターとユーチューブを活用しているが、幅広い年齢層や利用者数の獲得のため新たなツールの導入が必要である。(地域支援課)

◆1-2. 人権・平和

1-2-(1) 人権意識

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	人権研修会の参加者数(延べ)				
	現状値	R1年度 312人 / 年		目標値	R7年度 330人 / 年 R12年度 350人 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		未実施(コロナ)	144人/年	112人/年		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1	人権施策推進審議会運営事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			0	0	0		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	人権対策推進事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			515	735	598		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	人権対策啓発事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			520	442	489		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	各種相談事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			988	990	1,001		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	人権教育推進協議会運営事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			33	100	69		
			R8	R9	R10	R11	R12
6	人権教育推進事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			554	1,101	987		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・人権問題研修会を開催し、様々な人権問題について情報提供を行うとともに、参加者一人ひとりが自

分自身の問題として人権問題を考えるきっかけとなり、人権意識の高揚につながった。役場等の会議室で行う無料相談については、毎月広報紙に掲載日程等を掲載し周知を図った。(地域支援課)

- ・ 役場職員を対象とした人権研修会では、視覚障害者に対する人権に関しご講演いただき、職員 112 名が参加し、町民、町内企業を対象とした人権問題研修会では 121 名が参加した。(地域支援課)

【効果があったこと】

- ・ コロナ禍において全国的に法的課題や人権問題による相談件数が多くなっている。各種無料相談を広報等で周知したことで、法律相談の件数が令和 4 年度よりも 3 件増加し、58 件となった。
- ・ 研修会の講師に町内在住の身近な方をお願いすることで、より身近な問題としてとらえてもらえ、人権意識の向上に繋がったと思われる。(地域支援課)

【課題として残ったこと】

- ・ 今後の感染状況を鑑みて、対面での講座や研修会のほか、オンライン等の講座も視野に入れ、開催方法について検討する必要がある。(生涯学習)

1-2-(2) 男女共同参画

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	審議会への女性の登用率				
	現状値	R1 年度 27.5%		目標値	R7 年度 35.0% / R12 年度 38.0%	
	実績値	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
		28.5%	30.8%	30.4%		
		R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1	男女共同参画推進事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			536	141	24		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・ 男女共同参画審議会及び庁内会議を中心に第 4 次嵐山町男女共同参画プランの検証を実施した。(地域支援課)
- ・ 国立女性教育会館「NWEC だより」を広報紙で随時掲載した。(地域支援課)
- ・ 女性に対する暴力をなくす運動として県のパープルリボンキャンペーンに参加し、役場庁舎のエントランスにタペストリーを展示した。(地域支援課)

【効果があったこと】

- ・ 役場エントランスにタペストリーを展示し、自らリボンを作ってタペストリーに入れてもらうことにより、パープルリボンキャンペーンの周知が図られた。(地域支援課)

【課題として残ったこと】

- ・ 審議会の女性登用率の向上には、各課の理解と協力が必要となるため、庁内においても引き続き、男女共同参画を推進し、登用率の向上に努めること。(地域支援課)

1-2-(3) 平和と国際化

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	平和啓発事業への参加者数				
	現状値	100人 / 年 (R2年度見込み値)		目標値	R7年度 150人 / 年 R12年度 200人 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		来場者計測せず	来場者計測せず	来場者計測せず		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	日本語教室開催数				
	現状値	R1年度 35回		目標値	R7年度 38回 / R12年度 38回	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		未実施(コロナ)	27回	35回		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1	平和事業	総務課	R3	R4	R5	R6	R7
			2	2	4		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	国際交流推進事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			0	0	0		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・ 平和啓発事業として、広島平和記念資料館から取り寄せてパネル展を実施した。(生涯学習)
- ・ 日本語教室について、感染症対策を図りつつ 35回(延べ31人参加)実施できた。(生涯学習)

【効果があったこと】

- ・ 役場エントランスにパネルを展示したため、来庁者が行政手続きの際に気軽に立ち寄り、幅広い世代にご覧いただくことができた。(総務)

【課題として残ったこと】

- ・ 国際交流推進事業について、アフターコロナにおいて可能な取り組みを検討し、拡大していく必要がある。(総務・生涯学習)

- ・ 国際交流協会の活動において、外国人・多文化共生の知識を持つ人材、日本語教師の資格を持つスタッフが不足しており、人材の確保が必要である。(生涯学習)

●第2節 ひとを育み、学び楽しむまちづくり

◆2-1. 子育て支援

2-1-(1) 子育て支援・保育サービス

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	地域子育て支援拠点の利用者数				
	現状値	R1年度 4,806人 / 年		目標値	R7年度 5,700人 / 年 R12年度 5,700人 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		5,784人	5,536人	5,309人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	子育て世代包括支援センターの利用者数				
	現状値	R1年度 4,055人 / 年		目標値	R7年度 4,500人 / 年 R12年度 4,500人 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		4,577人	3,996	3,228人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
3	指標の内容	待機児童数				
	現状値	R1年度 9人		目標値	R7年度 0人 / R12年度 0人	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		0人	0人	0人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	地域子育て支援拠点運営事業	福祉課	10,929	8,983	10,193		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	保育所保育事業	福祉課	34,699	41,992	36,055		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	家庭保育室補助事業	福祉課	0	0	0		
			R8	R9	R10	R11	R12

4	子ども・子育て支援事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			4,719	4,940	5,628		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	学童保育室事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			60,593	56,726	57,597		
			R8	R9	R10	R11	R12
6	放課後こども教室事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			648	625	588		
			R8	R9	R10	R11	R12
7	こども医療費給付事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			45,732	52,580	61,255		
			R8	R9	R10	R11	R12
8	ひとり親家庭等医療費給付事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			4,667	4,370	4,831		
			R8	R9	R10	R11	R12
9	子どものための教育・保育給付事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			385,188	387,209	384,356		
			R8	R9	R10	R11	R12
10	児童手当・特例給付支給事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			203,616	196,982	190,110		
			R8	R9	R10	R11	R12
11	子ども家庭支援センター運営事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			22,637	9,016	10,896		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、子育て関連施設の利用制限を緩和した。(福祉課)
- ・出生1人につき5,000円を子育てファミリー応援金として支給。(福祉課)

【効果があったこと】

- ・子育て世帯の方が、子育て関連施設を利用しやすくなった。(福祉課)
- ・子育て世帯への経済的負担軽減を図ることが出来た。(福祉課)

【課題として残ったこと】

- ・出生者数の低下により保育所の定員数を下回ってきており、今後の保育施設運営が課題である。(福祉課)

- ・支援を必要としている家庭が増えてきており、相談業務やケースワークに携わる人員確保が課題となっている。(福祉課)

◆2-2. 学校教育

2-2-(1) 幼児教育

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	保育参加(参加協力率)				
	現状値	5% (R2 年度見込み値)		目標値	R7 年度 10% / R12 年度 10%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		参加依頼なし (コロナ)	参加依頼なし (コロナ)	参加依頼なし		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	ボランティア・外部人材活用 (活動回数・人数)				
	現状値	R1 年度 8 回・16 人 / 年		目標値	R7 年度 8 回・20 人 R12 年度 8 回・20 人	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		24 回・83 人	27 回・94 人	24 回・163 人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	幼児教育研究協議会運営事業	教育委員会事務局	104	9	9		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	嵐山幼稚園管理事業	教育委員会事務局	16,349	19,354	19,998		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	園児送迎バス運行事業	教育委員会事務局	3,092	3,214	3,120		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	幼稚園教育振興事業	教育委員会事務局	727	593	530		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・令和5年度から3歳児保育を開始することが始まり、3歳児21名が入園した。(教育総務)

- ・町内施設(嵐山町立図書館・オオムラサキの森活動センター・消防署・千年の苑ラベンダー園・土地改良区芋掘り等)を活用することで、豊かな人材に触れる機会をもった。(教育総務)
- ・嵐山町に限らず、外部指導者に来園していただき、親子星空観察会、交通安全教室、子育て講座などの教育活動を実施した。(教育総務)
- ・未就園児教室も行い、子育て支援を行った。(教育総務)

【効果があったこと】

- ・令和5年度から3歳児保育を始まり、より充実した幼児教育を実施することができた。(教育総務)
- ・コロナの時期にはできなかったことが、1年を通して以前のように行える年となった。保護者の参加するボランティアや園外に行く機会、外部指導者との連携等を行い、充実した1年となった。(教育総務)

【課題として残ったこと】

- ・家庭や地域、関係機関等との更なる連携を通し、より一層の教育活動の充実を図る。(教育総務)

2-2-(2) 確かな学力・豊かな心・健やかな体

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	学力を伸ばした児童生徒の割合				
	現状値	R1年度 小 78.2% 中 75.4%		目標値	R7年度 小 80.0% / 中 80.0% R12年度 小 83.0% / 中 83.0%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		小 76.7% 中 69.0%	小 70.9% 中 75.8%	小 55.4% 中 53.8%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	「規律ある態度」達成目標において8割以上の児童生徒が「できる」と回答した項目の割合				
	現状値	R1年度 小 95.8% 中 86.1%		目標値	R7年度 小 95.0% / 中 90.0% R12年度 小 100.0% / 中 100.0%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		小 94.4% 中 91.7%	小 97.2% 中 94.4%	小 90.1% 中 91.5%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
3	指標の内容	新体カテストにおいて5段階絶対評価 上位3ランクの児童生徒の割合				
	現状値	R1年度 小 85.5% 中 87.5%		目標値	R7年度 小 85.5% / 中 87.5% R12年度 小 85.5% / 中 87.5%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		小 82.1% 中 85.4%	小 76.5% 中 82.4%	小 82.6% 中 78.9%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

4	指標の内容	地元産の米・野菜の活用(年間使用率)				
	現状値	R1年度 米 100% 野菜 25.4%		目標値	R7年度 米 100% / 野菜 30% R12年度 米 100% / 野菜 30%	
実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	米 100% / 野菜 25.7%	米 100% / 野菜 30.2%	米 100% / 野菜 27.1%			
	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1	菅谷小学校管理事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			15,199	17,345	23,059		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	七郷小学校管理事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			8,600	9,801	12,491		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	志賀小学校管理事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			10,660	15,922	17,168		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	菅谷中学校管理事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			13,753	15,467	16,928		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	玉ノ岡中学校管理事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			14,641	16,152	15,493		
			R8	R9	R10	R11	R12
6	地域ふれあい推進事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			711	717	700		
			R8	R9	R10	R11	R12
7	英会話指導事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			8,081	8,692	8,692		
			R8	R9	R10	R11	R12
8	中学生社会体験チャレンジ事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			0	19	21		
			R8	R9	R10	R11	R12

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
9	教職員研修費等補助事業	教育委員会事務局					
			100	100	100		
			R8	R9	R10	R11	R12
10	給食運営委員会運営事業	教育委員会事務局					
			72	36	36		
			R8	R9	R10	R11	R12
11	学校給食運営管理事業	教育委員会事務局					
			80,620	89,918	94,282		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・ 嵐山町学力向上推進委員会において、児童生徒一人ひとりの学力向上及び教師の授業力向上のため、1時間の授業の流れや「主体的・対話的で深い学び」となるポイント等を記した嵐丸プランを作成した。各校、嵐丸プランをベースに授業改善を行っている。(教育総務)
- ・ 学習ドリルや、授業支援アプリ等のICTを活用することにより、基礎学力の向上を図った。(教育総務)
- ・ 嵐山町ICT活用研究推進委員会を定期的実施し、ICT機器の活用について各校の取組を共有し、効果的なICTの活用についての議論を行った。令和5年度は、校務支援システムの効果的な活用についても協議を行った。(教育総務)
- ・ 新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことを受け、様々な行事に取り組み、学校へ活気もどった。町内各校とも、コロナ前の状態にただ戻すのではなく、この機会に行事の精選や内容・在り方について各校で検討を行い実施した。(教育総務)
- ・ 嵐山町体力向上推進委員会を開催し、各校で実施した体力テストの結果をもとに課題の洗い出しを行い、課題解決に向けた取組についての協議を行った。(教育総務)
- ・ 町内全ての中学校において、水泳授業の民間委託を実施した。(教育総務)
- ・ 小学校で農業体験の田植え及び稲刈りを行った。(令和5年度は天候の都合により、稲刈りは実施できなかった。)年間を通じて地元産のお米や野菜を使った給食を提供した。(教育総務)
- ・ 栄養教諭が学年に合わせた内容の食に関する指導を実施し、食育の推進を図った。(教育総務)

【効果があったこと】

- ・ 令和4年度の玉ノ岡中学校での水泳指導の外部委託の成果を活かし、今年度は菅谷中学校も加えての実施となり、天候に影響されず計画的に水泳指導が実施できるとともに、専門的な指導も受けることができた。また、水質維持等のプールの管理もなくなり教師の働き方改革へとつながった。(教育総務)
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、ICT機器を学び合いのツールとして利活用するなどが効果的な活用が進んでいる。(教育総務)
- ・ 地元産食材を使用した給食を提供することで、地域の自然、食文化、産業等について児童生徒が身近に実感をもって理解を深めることができた。(教育総務)

【課題として残ったこと】

- ・学力を伸ばした児童生徒の割合が昨年度よりも低い結果となってしまった。令和5年度はP B TからC B Tへと変更し、子供たちに戸惑いがみられたことも、伸びなかった1つの要因ではないかと分析できるが、子供たちの学力向上のための方策等の検討を行っていく。(教育総務)
- ・食材費の高騰が給食会計を圧迫しており、今後は給食費の値上げを検討していく必要がある。(教育総務)

2-2-(3) 学校教育環境

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	不登校児童生徒の割合				
	現状値	R1年度 小 1.72% 中 5.34%		目標値	R7年度 小 1.5% 中 4.5% R12年度 小 1.0% 中 4.0%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		小 1.42% 中 6.70%	小 2.13% 中 7.06%	小 2.31% 中 9.86%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	教育相談件数				
	現状値	R1年度 949件 / 年		目標値	R7年度 950件 / 年 R12年度 950件 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		1,545件	2,053件	1,881件		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
3	指標の内容	学校における教育の情報化の実態等に関する調査				
	現状値	R1年度 小 63.6% 中 79.9%		目標値	R7年度 小 80.0% 中 90.0% R12年度 小 100% 中 100%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		小 72.4% 中 83.3%	小 74.3% 中 73.0%	小 83.3% 中 86.3%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
4	指標の内容	GIGAスクール構想の確実な更新（1人1台タブレットPC）				
	現状値	100%（R2年度見込み値）		目標値	R7年度 100% / R12年度 100%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		100%	100%	100%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
5	指標の内容	学校応援団登録者数				
	現状値	R1年度 426名		目標値	R7年度 400名 / R12年度 400名	

No.	目標値と年度別実績					
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		345名	173名	217名		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
6	指標の内容	「親の学習」の参加率				
	現状値	R1年度 99.2%		目標値	R7年度 100% / R12年度 100%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		100%	100%	100%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1	小学校施設改修事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			2,211	11,138	18,234		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	中学校施設改修事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			2,200	5,499	2,159		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	嵐山町立小中学校再編等審議会運営事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			507	324	-		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	嵐山町立小中学校再編事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			-	8,000	18,683		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	小学校保健衛生事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			3,266	3,237	3,351		
			R8	R9	R10	R11	R12
6	中学校保健衛生事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			1,749	1,731	1,876		
			R8	R9	R10	R11	R12
7	親の学習講座実施事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			120	120	0		
			R8	R9	R10	R11	R12

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
8	地域ふれあい推進事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			711	717	700		
			R8	R9	R10	R11	R12
9	小中一貫教育推進事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			9,462	8,421	9,897		
			R8	R9	R10	R11	R12
10	幼児教育研究協議会運営事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			0	9	9		
			R8	R9	R10	R11	R12
11	障害児就学支援委員会運営事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			104	54	42		
			R8	R9	R10	R11	R12
12	発達障害等早期支援対策事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			297	330	434		
			R8	R9	R10	R11	R12
13	教育相談員運営事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			281	334	372		
			R8	R9	R10	R11	R12
14	さわやか相談員運営事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			4,627	4,642	4,590		
			R8	R9	R10	R11	R12
15	いじめ問題対策事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			36	24	31		
			R8	R9	R10	R11	R12
16	中学校進路指導事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			200	200	221		
			R8	R9	R10	R11	R12
17	奨学資金貸付委員会運営事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			450	18	36		
			R8	R9	R10	R11	R12
18	菅谷小学校教育振興事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			5,784	6,066	6,356		

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R8	R9	R10	R11	R12
19	七郷小学校教育振興事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			1,071	849	1,237		
			R8	R9	R10	R11	R12
20	志賀小学校教育振興事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			2,984	3,770	3,441		
			R8	R9	R10	R11	R12
21	菅谷中学校教育振興事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			5,060	5,463	6,114		
			R8	R9	R10	R11	R12
22	玉ノ岡中学校教育振興事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			3,497	4,057	4,408		
			R8	R9	R10	R11	R12
23	学校教育IT推進事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			35,549	41,162	41,835		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・ 嵐山町いじめ問題対策協議会を開催し、いじめ問題に関する施策の推進や現状把握等を行った。
- ・ いじめの発見から解消、事後観察の流れを示す「嵐山町小中学校いじめ緊急対策マニュアル」を各校で見直しを図った。(教育総務)
- ・ 町内外の関係機関と連携し、いじめや不登校の未然防止や早期発見、対応を図るための体制を整備し、さらなる協力体制を図った。(教育総務)
- ・ 町内外関係機関と連携し、幼児児童生徒への指導、支援、保護者の個別相談を行った。(教育総務)
- ・ さわかか相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが小中学校にて相談活動を行っている。また、教育相談室を開室し、保護者対象の相談活動も実施した。(教育総務)
- ・ 発達障害等早期支援対策事業として、臨床心理士が小中学校、幼稚園を巡回しケースに応じた支援を行った。(教育総務)
- ・ 嵐山町就学支援委員会を年6回(全体会3回、専門委員会3回)実施し、障害の状態・本人の教育的ニーズや保護者の意見など総合的な観点から就学先を検討した。(教育総務)
- ・ 特別支援学級補助員を配置し、特別な支援を要する児童に対し学習・生活への支援等を行った。(教育総務)
- ・ 就学時健診の実施会場を各校から嵐山幼稚園に変更し、実施日を減らして教員の働き方改革に寄与することができた。「親の学習」は、入学を控えた児童を持つ保護者に対し、入学までの家庭での過ごし方等について幼稚園長が講演し、好評を得た。(教育総務)

- ・保護者及び地域の方に、学校における学習活動、安心・安全確保、環境整備などについてボランティアとして協力・支援をお願いした。(教育総務)
- ・嵐山町立小中学校の再編事業については、基本計画資料作成業務委託を実施した。(教育総務)
- ・菅谷小・中学校で学校運営協議会を設置し、地域とともにある学校づくりを推進した。(教育総務)

【効果があったこと】

- ・「嵐山町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの早期発見早期対応を行い、いじめ解消率100%を達成した。(教育総務)
- ・校務支援システムを導入後2年経過し、教員の働き方改革に取り組むことが出来た。(教育総務)

【課題として残ったこと】

- ・不登校児童・生徒は小中学校とも年々増加している。児童生徒にとって行きたくなる学校、保護者や地域にとって通わせたい魅力ある学校づくりが課題である。(教育総務)
- ・ICT活用において、学校間や教員間での格差が生まれないようにしていくことが課題である。(教育総務)
- ・GIGAタブレットの活用が進んでいることは、効果として認められるが、活用機会の増加に伴い、破損や不具合の件数も増加している。修理が間に合わないなど保守が課題となっている。(教育総務)

◆2-3. 社会教育・文化・スポーツ活動

2-3-(1) 生涯学習活動・文化・芸術活動

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	嵐山まつりににおける文化展への出品参加者数				
	現状値	R1年度 996人 / 年		目標値	R7年度 1,000人 / 年 R12年度 1,000人 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		未実施(コロナ)	931人	2,183人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	生涯学習講座から発展した自主グループ数				
	現状値	R1年度 1グループ / 年		目標値	R7年度 2グループ / 年 R12年度 2グループ / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		0グループ	0グループ	0グループ		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
3	指標の内容	交流センターの利用者数				
	現状値	R1年度 83,679人 / 年		目標値	R7年度 90,000人 / 年 R12年度 90,000人 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		24,005人	56,059人	59,970人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

4	指標の内容	町民1人当たりの年間図書貸出冊数				
	現状値	R1年度 5.2冊 / 人		目標値	R7年度 6.0冊 / 人 R12年度 6.4冊 / 人	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		3.6冊	4.9冊	5.4冊		
R8年度		R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	交流センター管理事業	教育委員会事務局	15,714	16,881	17,337		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	交流センター活動事業	教育委員会事務局	390	478	680		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	ボランティア活動支援事業	教育委員会事務局	0	0	1		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	社会教育事業	教育委員会事務局	789	1,490	1,232		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	社会教育委員運営事業	教育委員会事務局	117	310	300		
			R8	R9	R10	R11	R12
6	社会教育団体等育成事業	教育委員会事務局	2,529	2,419	2,416		
			R8	R9	R10	R11	R12
7	図書館協議会運営事業	教育委員会事務局	72	78	78		
			R8	R9	R10	R11	R12
8	図書館管理事業	教育委員会事務局	18,778	21,409	21,267		
			R8	R9	R10	R11	R12

9	図書等購入事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			4,994	4,913	4,490		
			R8	R9	R10	R11	R12
10	図書館活動事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			338	292	337		
			R8	R9	R10	R11	R12
11	電子図書館導入事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			—	849	603		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・「蝶の里町民講座」を開催し、講師を公立学校、私立学校、自治会へ派遣した。(生涯学習)
- ・交流センター運営協議会において貸出ルールの改正を行い、町内団体の利用を促進するなどして多くの団体へ施設の貸出しを行った。(生涯学習)
- ・令和4年度からの事業である、小学3年生以下の子どもと保護者を対象とし、「英語絵本の読み聞かせ会」を継続した。図書館だよりへの英語絵本コラム掲載や、英語併記資料の配架の工夫等により啓発を行った。(生涯学習)
- ・図書館で主催する各種おはなし会に加え、幼稚園や保育園、小学校等への出張サービスを開始した。(生涯学習)
- ・電子図書館の町内小中学校との連携準備を行い、感染症が再拡大した際にも安心・安全に読書ができる体制を整えた。(生涯学習)

【効果があったこと】

- ・各交流センターを活用して町民の主体的な社会参加活動を支援し、生涯学習推進体制の充実に努めるとともに、町民の自主的な文化・芸術活動の支援・充実を図ることができた。(生涯学習)
- ・「蝶の里町民講座」を通して各学校と地域住民との連携を進めることができた。(生涯学習)
- ・図書館の英語併記資料貸出数は、前年と同様の高水準を保ち、利用が少ない資料を活用することができた。(生涯学習)
- ・各出張先から好評であり、子どもが図書館へ来館し本に触れるきっかけを作ることができた。(生涯学習)
- ・次年度6月より小中学生の電子図書館読み放題サービス開始に向けての目途を立てた。(生涯学習)
- ・図書館雑誌スポンサー制度では、新たに5社1社から18誌19誌の提供を決定することができた。(生涯学習)

【課題として残ったこと】

- ・文化展等不特定多数の参加が見込まれるイベントの開催方法については検討が必要である。(生涯学習)
- ・ふれあい交流センター講座はコロナ禍で1回の開講のみであったが、感染症対策をとりつつ実施することができた。また、「蝶の里町民講座」の活用範囲は学校・自治会のみであった。引き続きアフター

コロナでも可能な取り組みを検討する必要がある。(生涯学習)

- ・図書館施設の劣化については、職員が可能な範囲で修繕等を行いながら対応しているが、立地環境に起因する建物の根本的な不具合解消には多大な費用がかかることもあり、財政難の中、見通しが立たない状況が続いている。(生涯学習)
- ・近年、雑誌の市場規模が縮小傾向にあり、廃刊となってしまうものが多い。図書館で取り扱っている雑誌においても同様であるため、雑誌以外のスポンサーを模索していく必要がある。(生涯学習)
- ・電子図書館の登録者数が伸び悩み、また利用者の年齢層の分布が偏っている。また、サービス開始から間もないこともあり、電子図書館に収録されている本に読みたいものがないという意見もあるため、引き続き蔵書数を増加させていく必要がある。(生涯学習)

2-3-(2) スポーツ活動

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	体育施設利用登録者数				
	現状値	R1年度 3,390人		目標値	R7年度 3,500人 / R12年度 3,600人	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		2,959人	2,625人	2,478人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	総合型地域スポーツクラブと連携した事業数				
	現状値	R1年度 2事業		目標値	R7年度 3事業 / R12年度 3事業	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		2事業	1事業	1事業		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1	ひとり1スポーツ推進事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			764	449	466		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	スポーツ施設管理事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			18,028	18,301	18,420		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	学校体育施設管理事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			27	18	0		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	スポーツ推進委員運営事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			648	1,550	1,504		
			R8	R9	R10	R11	R12

5	スポーツ団体等補助事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			1,937	2,715	2,578		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・令和4年度に引き続き、自由参加型・体験型イベントとして嵐山町秋のスポーツフェスティバル 2023を開催し、参加者にたいへん好評であった。(生涯学習)
- ・アフターコロナにおける適切な感染症対策を行い、体育施設の管理及び貸出を実施した。嵐山町スポーツ協会、スポーツ少年団への補助金の交付を実施した。(生涯学習)
- ・ユニバーサルスポーツの普及・啓発として道具(ボッチャ)の貸出を実施し、スポーツフェスティバルでもスポーツ輪投げと共に協議に加えて実施した。(生涯学習)

【効果があったこと】

- ・自由参加型・体験型のスポーツフェスティバルを開催し、広い年齢層より多くの参加があった。参加者が家族や友人どうし笑顔で楽しむ様子が印象的であった。(生涯学習)
- ・嵐山町スポーツ協会、嵐山町スポーツ少年団の適切な運営、活動を支援できた。(生涯学習)
- ・町民が快適に利用できる生涯スポーツの場を提供できた。ユニバーサルスポーツ(ボッチャ)の普及に貢献した。(生涯学習)

【課題として残ったこと】

- ・引き続き、町民誰もが身近に感じられるようなスポーツ大会や各種スポーツイベントの開催を推進する必要がある。(生涯学習)
- ・各スポーツ施設のソフト、ハード面が老朽化しており、維持管理を含め多額の修繕費の捻出が困難であるため、資金調達について検討する必要がある。(生涯学習)
- ・人口減少が見込まれる中、「ひとり1スポーツ」を今後も推進し、多くの方がスポーツに親しみ、施設が活用できるよう創意・工夫を図る必要がある。(生涯学習)

2-3-(3) 文化財

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	指定文化財のパンフレット配布数				
	現状値	R1年度 11,300部 / 年		目標値	R7年度 12,000部 / 年 R12年度 12,500部 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		11,500部	11,600部	9,600部		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	無形民俗文化財の活動者数				
現状値	R1年度 75人 / 年		目標値	R7年度 100人 / 年 R12年度 100人 / 年		

No.	目標値と年度別実績						
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
72人		8人	163人				
R8年度		R9年度	R10年度	R11年度	R12年度		
3	指標の内容	杉山城跡の公有化					
	現状値	R1年度 87.6%		目標値	R7年度 100% / R12年度 100%		
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		87.6%	87.6%	87.6%			
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	指定文化財保存管理事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			20,447	2,961	4,958		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	文化財保護審議会運営事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			24	24	36		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	文化財保護事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			100	76	102		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	文化財発掘調査事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			3,534	3,243	4,925		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	歴史史料等保存活用管理事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			99	89	92		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・ 杉山城跡については、パンフレットを役場庁舎ロビー特設コーナー及び杉山城跡入口（外郭）看板脇において通年の無償配布を実施し、ホームページ上にも PDF を掲載してインターネット上でも閲覧できるようにし、見学者等の知識向上に対する利便を図った。（生涯学習）
- ・ 遺跡の管理については、町職員等による通年の除草・枯損木除去のほか、ボランティアによる年3回の除草及び玉ノ岡中学校生徒による竹の間伐・見学路整備を実施し、滞りなく維持管理できた。（生涯学習）
- ・ 無形民俗文化財の保存活動に対し補助金を交付し活動支援を行った。コロナ禍のため行動が制限されていたまつり行事について、まだ制限が多い状況ではあるが、練習活動が再開され、本来の活動に戻

りつつあるのは喜ばしいことである。(生涯学習)

【効果があったこと】

- ・ 杉山城跡については、町からの情報発信に加え、昨年度にテレビ報道等のメディアにとりあげられたことにより賑わいを見せた。その後も勢いは衰えず、年間を通じて見学者等が絶えない状況である。高度な築城技術と保存状態の良い史跡であることについてより多くの方々にPRできた。(生涯学習)

【課題として残ったこと】

- ・ 杉山城跡については、たいへん多くの方が訪れているが、受け入れ態勢も含め整備が進んでおらず、大型バスを利用した見学ツアーの問い合わせがあるのに対し、トイレや駐車場施設が対応できていない現状があり、また経済効果に結び付いていない。(生涯学習)
- ・ アクセス道路の案内板、史跡内の看板類や散策路等の整備、史跡の保護対策を行う上で「杉山城跡保存活用計画」及び「杉山城跡整備基本計画」の策定が求められている。(生涯学習)
- ・ 杉山城跡の未買収地については、史跡の保存・整備上重要であり、引き続き土地所有者と交渉を進めて行く。(生涯学習)
- ・ 少子高齢化に伴う無形民俗文化財の後継者減少について、現状での環境改善は見られず、一団体では活動できない状況が続いている。活動ができない状況が続いている。(生涯学習)

●第3節 健康で互いに支えあうまちづくり

◆3-1. 健康づくり・医療

3-1-(1) 健康づくり

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	20歳以上のやすらぎトレーニングルーム利用者数				
	現状値	実人数 350人 / 年 延人数 16,800人 / 年 (R2年度見込み値)		目標値	R7年度 400人 / 年 19,200人 R12年度 400人 / 年 19,200人	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		実人数 146人 (延人数 146人)	実人数 184人 (延人数 9,116人)	実人数 246人 (延人数 9,603人)		
R8年度		R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
2	指標の内容	健康割合の増加(健康寿命の平均余命に占める割合)				
	現状値	H30年度 男性 89.5% 女性 84.3%		目標値	R5年度 男性 90.9% 女性 85.9% R10年度 男性 92.3% 女性 87.4%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		男性 90.8% 女性 82.4% (R2年度)	男性 90.8% 女性 84.5% (R3年度)	男性 90.5% 女性 84.5% (R4年度)		
R8年度		R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
3	指標の内容	高齢者予防接種率				
	現状値	R1年度 インフルエンザ 46.8% 肺炎球菌 22.5%		目標値	R7年度 インフルエンザ 52% 肺炎球菌 27% R12年度 インフルエンザ 55% 肺炎球菌 30%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		インフルエンザ 49.8% 肺炎球菌 21.9%	インフルエンザ 52.1% 肺炎球菌 19.5%	インフルエンザ 49.1% 肺炎球菌 22.2%		
R8年度		R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
4	指標の内容	がん検診受診率				
	現状値	R1年度 18.8%		目標値	R7年度 21% R12年度 22%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		10.4%	18.2%	7.9%		
R8年度		R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
5	指標の内容	基本健康診査受診率				
	現状値	R1年度 12.1%		目標値	R7年度 50% R12年度 50%	

	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		13.1%	11.0%	11.6%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
6	指標の内容	健康マイレージらんらんポイント参加者数				
	現状値	R1年度 273人		目標値	R7年度 400人 R12年度 500人	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		310人	353人	356人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	保健推進員運営事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			0	477	464		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	フィットネス21パーク管理事業	まちづくり整備	R3	R4	R5	R6	R7
			616	742	592		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	健康づくり事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			14,208	9,129	8,058		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	生活習慣病予防事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			321	275	244		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	健康増進センター管理事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			5,397	5,616	6,147		
			R8	R9	R10	R11	R12
6	基本健康診査事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			274	220	235		
			R8	R9	R10	R11	R12
7	特定健康診査等事業 (特別会計)	町民課	R3	R4	R5	R6	R7
			13,340	11,927	9,999		
			R8	R9	R10	R11	R12
8	がん検診等事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			6,867	10,641	11,372		

			R8	R9	R10	R11	R12
9	高齢者予防接種事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			14,535	16,777	16,458		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・ やすらぎトレーニングルームについては、コロナ対策として予約制及び人数制限をして運営した。(健康いきいき)
- ・ 集団がん検診を、昨年に引き続き感染防止策を行いながら実施した。(健康いきいき)
- ・ 高齢者インフルエンザ予防接種ワクチンの自己負担額を令和4年度より1,000円としている。(健康いきいき)
- ・ 血糖値が高めの方に血液サラサラ教室を開催し、運動指導、栄養相談、歯科相談を実施した。(健康いきいき)
- ・ 食育セミナーを開催した。(健康いきいき)
- ・ 健康増進センターの老朽化に伴う自動ドアの修繕を実施した。(健康いきいき)

【効果があったこと】

- ・ 令和4年8月からやすらぎトレーニングルームの1セットの利用人数を12人から15人に拡大しており、令和5年度は延べ利用者が9,603人、前年比1.05となった。(健康いきいき)
- ・ 集団がん検診等を実施することでがん検診受診率の向上につなげることができた。(健康いきいき)
- ・ 高齢者インフルエンザ予防接種の率は△3%となったが、高齢者肺炎球菌(定期接種)接種率は、2.7%上昇した。(健康いきいき)
- ・ 食育セミナーの開催によって、参加者への食と健康に関する意識づけができた。(健康いきいき)
- ・ 血液サラサラ教室において、歯科衛生士による口腔衛生指導を実施することで、口腔衛生と糖尿病などの疾患予防との関連性について意識をもってもらうことができた。(健康いきいき)

【課題として残ったこと】

- ・ 新型コロナウイルス感染症は予防接種法の第5類となったが、コロナ禍の影響により、ヘルスアップクッキング講座が休止となった。次年度は、感染症対策を行った実施方法を検討し、町民一人ひとりが食も含めた健康意識を高められるよう事業を展開する必要がある。(健康いきいき)
- ・ コロナ禍が影響したためか、大人の精神ケースへの訪問支援等が増加している。(健康いきいき)
- ・ 集団がん検診等の受診者が未だコロナ禍前に及ばず、検診控え対策や勧奨への取り組みを必要とする。(健康いきいき)
- ・ 健康増進センターの老朽化に伴いエアコン等の修繕が必要となっている。優先度の高いものから計画的に対応していく。(健康いきいき)

3-1-(2) 母子の健康づくり

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績
-----	-----------

1	指標の内容	親子クッキングの参加組数				
	現状値	R1年度 30組		目標値	R7年度 30組 / R12年度 30組	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		未実施(コロナ)	未実施(コロナ)	未実施(コロナ)		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	乳幼児予防接種率				
	現状値	R1年度 95%		目標値	R7年度 95% / R12年度 95%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		95.3%	86.2%	97.8%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
3	指標の内容	乳幼児健康診査受診率				
	現状値	R1年度 98%		目標値	R7年度 100% / R12年度 100%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		98.7%	99.3%	98.9%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
4	指標の内容	産婦、乳児の訪問率				
	現状値	R1年度 100%		目標値	R7年度 100% / R12年度 100%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		95.5%	97.0%	99.3%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
5	指標の内容	妊婦健康診査受診率				
	現状値	R1年度 100%		目標値	R7年度 100% / R12年度 100%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		100%	100%	100%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
6	指標の内容	妊婦面談実施率(出産子育て応援給付事業R5年度開始)				
	現状値	-		目標値	R7年度 95% / R12年度 95%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		-	-	98.8%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	乳幼児健診事業	健康いきいき課	3,119	2,877	2,865		

			R8	R9	R10	R11	R12
2	母子保健事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			947	759	1,159		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	妊婦健康診査事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			7,147	7,232	7,186		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	不妊治療支援事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			359	60	30		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	母子予防接種事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			26,861	31,227	31,724		
			R8	R9	R10	R11	R12
6	地域療育事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			1,200	1,383	1,356		
			R8	R9	R10	R11	R12
7	出産子育て応援給付事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			-	8,973	9,884		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・新型コロナウイルス感染症対策を行い、乳幼児健診や各種相談、教室等を実施した。(健康いきいき)
- ・新規事業として、産婦健康診査の助成を継続実施した。(健康いきいき)
- ・3歳児健康診査において、弱視や斜視の早期発見を目的に検査機器（スポットビジョンスクリーナー）を用いた屈折検査を開始継続した。(健康いきいき)
- ・新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえながらプレママ・プレパパ教室を開催した。(健康いきいき)
- ・妊婦健康診査受診率は100%を継続している。(健康いきいき)
- ・国の施策として出産子育て応援給付事業が令和4年度から開始され、妊産婦への経済的支援と定期的な相談等の伴走型相談支援を継続した。(健康いきいき)

【効果があったこと】

- ・発達障害等支援が必要で育児に大きなストレスを抱えている保護者を対象としたこども心理相談は好評であり、年度途中で枠を増やす対応をした。(健康いきいき)
- ・個別通知で乳幼児健康診査の受診を勧めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策を万全とすることにより、健診受診率を100%に近く維持することができた。未受診者に対しては、電話、訪問、保育園からの情報等で状況把握している。(健康いきいき)

- ・従来からの家庭内で実施している視覚検査（ランドル環）の結果だけではわからない弱視・斜視等の早期発見につながった。（健康いきいき）
- ・コロナ禍で人との交流が減っている中で、プレママ・プレパパ教室の参加者同士の交流の機会となった。（健康いきいき）

【課題として残ったこと】

- ・親子クッキング等、コロナ禍で実施できない事業もあるため、適宜電話等でのフォローで対応していく。（健康いきいき）
- ・出生率の低下に反して支援の必要な母子が増えており、令和元年度に開設した子育て世代包括支援センターにおいて、ニーズに応じた支援体制が求められている。（健康いきいき）
- ・出産子育て応援給付事業による経済的支援及び妊娠期から子育て期にわたる伴走型相談支援を行うためのマンパワーを確保するとともに育成をしていく必要がある。（健康いきいき）

3-1-(3) 地域医療

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	寝たきり者歯科保健医療事業の利用者数				
	現状値	R1年度 3人 / 年		目標値	R7年度 8人 / 年 R12年度 10人 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		4人	3人	2人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	献血者数				
	現状値	R1年度 582人 / 年		目標値	R7年度 600人 / 年 R12年度 650人 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		446人	415人	383人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1	保健衛生総務事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			4,818	14,713	10,549		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	母子衛生総務事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			6,909	8,133	5,880		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	高齢者予防接種事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			14,535	16,777	16,458		

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R8	R9	R10	R11	R12
4	母子予防接種事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			26,861	31,227	31,724		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	新型コロナウイルスワクチン接種事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			135,413	91,408	51,557		
			R8	R9	R10	R11	R12
6	献血事業	健康いきいき課	R3	R4	R5	R6	R7
			57	57	47		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・保健衛生総務事業では寝たきりの方への訪問歯科診療を実施した。(健康いきいき)
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業においては、春接種・秋接種と対象者やワクチンの種類が異なる状況ではあったが、医療機関との調整を密に行い、感染防止と重症化予防のための接種を実施した。(健康いきいき)
- ・コロナに感染された方や医療機関受診に関する相談に対応した。(健康いきいき)
- ・予防接種事故発生調査委員会を開催した。(健康いきいき)
- ・献血実施については、広報やSNS (Twitter やLINE) あんしんメールを活用し、周知に取り組んだ。(健康いきいき)

【効果があったこと】

- ・医療機関における個別接種体制の協力・調整の実施により、接種を希望される方への接種を実施できた。(健康いきいき)
- ・コロナに感染された方の受診に関する一般的な相談を受け、療養者等の安心につながられた。(健康いきいき)
- ・予防接種事故発生調査委員会を早期に開催し、国への進達やその後の事務を遅滞なく進められた。(健康いきいき)
- ・日本赤十字血液センターが主体となり実施した企業での献血では、コロナ禍に関わらず多くの方に献血をしていただいた。(健康いきいき)

【課題として残ったこと】

- ・新型コロナウイルスワクチン接種については定期接種となるため、医師会等との調整や制度の整備が必要となる。(健康いきいき)
- ・献血事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止や協力辞退となる会場もあった。安心して献血に協力できること、感染症対策は必須としていることの周知や情報提供を行い、献血者の確保を進めていきたい。(健康いきいき)

◆3-2. 地域福祉・社会保障

3-2-(1) 地域福祉活動

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	重層的支援体制整備				
	現状値	—		目標値	R7年度 整備 R12年度 支援会議 10ケース / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		未整備	未整備	未整備		
R8年度		R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	民生・児童委員運営事業	福祉課	3,425	3,576	3,510		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	社会福祉協議会補助事業	福祉課	10,453	10,664	9,644		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	ボランティア活動支援事業	教育委員会事務局	0	0	1		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	地域福祉人材育成事業	福祉課	330	260	210		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	総合相談事業 (特別会計)	長寿生きがい課	1,435	1,199	1,197		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・個人5人、団体20組のボランティア登録があり、希望者への保険加入をサポートした。多くの個人・団体がコロナ禍における行動制限により活動を行うことがほとんどできなかった。(福祉課)
- ・民生委員協議会、社会福祉協議会への事業補助を実施した。(福祉課)

【効果があったこと】

- ・高齢化の進行や夏期の猛暑など生活状況が心配な世帯の様子を知るうえで民生・児童委員などの重要性は増している。各団体への補助を実施することで活動が円滑に実施された。(福祉課)

【課題として残ったこと】

- ・コロナ禍における行動制限から今後の活動が見通せず、ボランティア登録を見送る方が増えている。新規ボランティアの育成も進まず、活動者数の減少に歯止めがかからない状況である。
- ・団体補助金は、当該年度の予算の範囲で補助している。社会福祉協議会については財政状況によっては職員設置費の補助が難しくなる恐れがある。(福祉課)
- ・国が示す重層的支援体制の整備について、嵐山町の実情に合った在り方を引き続き検討する。(福祉課)

3-2-(2) 社会保障制度

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	国民健康保険税の収納率				
	現状値	R1年度 87.8%		目標値	R7年度 88.8% / R12年度 90.0%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		88.7%	89.7%	88.8%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	後期高齢者医療保険料の収納率				
	現状値	R1年度 99.29%		目標値	R7年度 99.40% / R12年度 99.50%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		99.72%	99.72%	99.02%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1	国民健康保険特別会計繰出事業	町民課	R3	R4	R5	R6	R7
			97,702	95,910	89,671		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	町内建設・土建国保組合助成事業	町民課	R3	R4	R5	R6	R7
			77	72	66		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	後期高齢者医療保険事業	町民課	R3	R4	R5	R6	R7
			236,317	250,315	266,112		
			R8	R9	R10	R11	R12

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
4	国民年金総務事業	町民課	757	44	8		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・国民健康保険税では、納期限内納付のない方に対し、督促状や催告書を送付し納付を促した。また、電話での催告や納税相談を行い、それでも納付がない方については差押え等の滞納処分を行った。(税務課)
- ・後期高齢者医療保険では、国民健康保険等からの切り替え時に口座振替での納付をお願いする、特別徴収への開始予定時期を提示し、全員が一旦は普通徴収となることへの理解を促した。また、保険料通知の際には、対象者の状況に応じた個別文書を同封するなど、徴収方法についてきめ細かい対応を行った。(町民課)
- ・国民年金では、来庁しなくても電子申請で可能な手続きを広報した。(町民課)

【効果があったこと】

- ・国民健康保険税では、納税相談の際に軽減制度が適用可能な該当者に住民税申告を促すことで、軽減された保険税が早期に納付される傾向にあった。(税務課)
- ・後期高齢者医療保険では、被保険者証更新の際に過年度に未納がある方へは、保険証を発送せず来庁・納付相談後の交付としたところ、納付忘れの方などのスムーズな納付へつながった。また前述の口座振替推進や、コンビニ収納方式の採用により、便利で分かりやすい保険料納付環境の普及に努めた結果、被保険者数の急増にもかかわらず99%以上の収納率が維持できている。(町民課)

【課題として残ったこと】

- ・後期高齢者医療保険の資格取得時は一度普通徴収となり、その後特別徴収に切り替わる。その普通徴収期間中の保険料が未納となるケースについては、【効果があったこと】の工夫を行い減少傾向であるが、一方で恒常的な未納者が微増しており、施設入所者や単身世帯等の増加も含め、高齢である被保険者との交渉機会の確保が課題となっている。また、団塊世代の75歳到達により、後期高齢者医療保険被保険者数が急増しているため、高い収納率維持には納付相談や人員増加等の体制強化が必須である。(町民課)

◆3-3. 高齢者福祉

3-3-(1) 高齢者の生きがいづくり

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績		
	指標の内容	シルバー人材センターの就業率	
1	現状値	R1年度 92.1%	目標値
			R7年度 94.0% R12年度 95.0%

	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		94.3%	94.2%	89.1%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	嵐山おたすけサービス事業利用件数				
	現状値	R1年度 1,488 件 / 年		目標値	R7年度 1,550 件 / 年 R12年度 1,600 件 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		1,784 件	2,010 件	2,147 件		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
3	指標の内容	高齢者見守り(ミマモリ)協力事業者数				
	現状値	R1年度 99 箇所		目標値	R7年度 120 箇所 R12年度 135 箇所	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		102 箇所	105 箇所	102 箇所		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
4	指標の内容	高齢者生活支援サポーター数				
	現状値	R1年度 7 人		目標値	R7年度 10 人 R12年度 12 人	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		7 人	2 人	1 人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
5	指標の内容	認知症サポーター養成講座参加者数(累計)				
	現状値	R1年度 1,460 人		目標値	R7年度 1,760 人 R12年度 2,060 人	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		1,761 人	1,960 人	2,105 人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	高齢者就業促進事業	長寿生きがい課	17,009	11,396	11,400		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	老人クラブ助成事業	長寿生きがい課	1,167	1,056	1,056		
			R8	R9	R10	R11	R12

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
3	ボランティア活動支援事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			0	0	1		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	介護保険関連施設やすらぎ管理事業	長寿生きがい課	R3	R4	R5	R6	R7
			10,136	12,478	10,821		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	地域包括支援センター事業	長寿生きがい課	R3	R4	R5	R6	R7
			4,761	4,513	5,396		
			R8	R9	R10	R11	R12
6	おたすけサービス事業 (特別会計)	長寿生きがい課	R3	R4	R5	R6	R7
			1,500	1,500	1,500		
			R8	R9	R10	R11	R12
7	総合相談事業 (特別会計)	長寿生きがい課	R3	R4	R5	R6	R7
			1,435	1,199	1,197		
			R8	R9	R10	R11	R12
8	権利擁護事業 (特別会計)	長寿生きがい課	R3	R4	R5	R6	R7
			43	33	7		
			R8	R9	R10	R11	R12
9	任意事業 (特別会計)	長寿生きがい課	R3	R4	R5	R6	R7
			2,451	3,137	3,257		
			R8	R9	R10	R11	R12
10	在宅高齢者等日常生活支援事業	長寿生きがい課	R3	R4	R5	R6	R7
			281	276	381		
			R8	R9	R10	R11	R12
11	高齢者外出支援事業	長寿生きがい課	R3	R4	R5	R6	R7
			10,222	13,105	14,684		
			R8	R9	R10	R11	R12
12	高齢者運転免許証自主返納支援事業	長寿生きがい課	R3	R4	R5	R6	R7
			352	546	519		
			R8	R9	R10	R11	R12

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
13	在宅医療・介護連携推進事業 (特別会計)	長寿生きがい課	R3	R4	R5	R6	R7
			1,316	1,269	1,275		
			R8	R9	R10	R11	R12
14	生活支援体制整備事業 (特別会計)	長寿生きがい課	R3	R4	R5	R6	R7
			2,208	2,380	2,436		
			R8	R9	R10	R11	R12
15	認知症サポーター活動 促進・地域づくり推進事業 (特別会計)	長寿生きがい課	R3	R4	R5	R6	R7
			14	48	17		
			R8	R9	R10	R11	R12
16	高齢者補聴器購入費助 成事業	長寿生きがい課	R3	R4	R5	R6	R7
			—	—	200		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・シルバー人材センターにおいて、新規入会者の募集を積極的に行った。また、高齢化する会員の退会抑制を実施した。(長寿生きがい)
- ・ボランティアについては、個人5人、団体20組の登録があり、希望者へ保険加入をサポートした。(長寿生きがい)
- ・コロナ禍においてボランティア活動は制限されたが、各団体が工夫し可能な活動を行った。(長寿生きがい)
- ・おたすけサービス事業については、多くの利用申請がありニーズに応じた支援を行った。(長寿生きがい)
- ・生活支援サポーター養成講座は、カリキュラムを大幅に見直し、平日開催3日間から土曜日開催2日間に変更し、5名の応募があった。(長寿生きがい)
- ・町内の中学校2校、脳の健康教室参加者、志賀2区自治会で認知症サポーター養成講座を実施した。(長寿生きがい)
- ・認知症の方を支援するチームオレンジが、認知症普及啓発のための冊子を作成し、9月に町内2か所で配布した。(長寿生きがい)
- ・高齢者外出支援事業は、令和3年度に事業の見直しを行い、対象年齢を1歳ずつ引き上げている段階。最終的に70歳以上とする予定。令和5年度は68歳以上の方を対象にタクシーチケット1枚につき500円の助成を行った。(長寿生きがい)
- ・高齢者運転免許証自主返納支援事業を周知し、運転に不安を感じた高齢者の免許証自主返納を促した。(長寿生きがい)
- ・高齢者の円滑なコミュニケーション確保・認知症予防・フレイル予防を図ることを目的とし、高齢者補聴器購入費助成事業を令和5年10月1日から開始。令和5年度は10件、合計20万円を助成した(長

寿命生きがい)

【効果があったこと】

- ・シルバー人材センターへの新規入会者 20 人（前年度比 15 人増）を得た。退会者を差し引くとトータル 6 人の減であったが、令和 4 年度トータル 21 人減から大幅に減少を抑えることができた。（長寿生きがい）
- ・生活支援サポーター養成講座を開催し、その内の 1 名が福祉施設の就職につなげることができた。（長寿生きがい）
- ・おたすけサービス事業が周知されたことにより、利用件数が増加した。（長寿生きがい）
- ・町内の全中学校や自治会などで認知症サポーター養成講座を実施できたことや、チームオレンジによる冊子の配布を行ったことで認知症の普及啓発活動を多くの場所で行うことができた。また、嵐トレサポーターの交流会にて認知症に関する意見交換も実施できた。（長寿生きがい）
- ・高齢者外出支援タクシー利用料金助成事業については、1,110 名の申請があり 884 名の利用があった。（長寿生きがい）
- ・高齢者運転免許証自主返納支援事業について、タクシー券申請者は 73 人（前年度比 14 人減）であったが、埼玉県警統計資料によると令和 5 年の自主返納者は 92 人（前年比 9 人増）であった。（長寿生きがい）

【課題として残ったこと】

- ・シルバー人材センターの退会者数の抑制はできたが、前期高齢者数は減少傾向であることから新規会員の確保は依然として困難な状況である。（長寿生きがい）
- ・高齢者のボランティア活動は、本人の生きがいづくりや地域への貢献につながることから、超高齢化社会へ進む中で重要な役割を担っている。高齢者のボランティア活動の場の提供が必要である。（R5 同様）（長寿生きがい）
- ・おたすけサービス事業を行うボランティア登録者の高齢化が進んでいる。ボランティア活動を継続させるためにも幅広い層にボランティア登録を呼びかける必要がある。町広報を活用したボランティア登録の呼びかけを検討したい。（長寿生きがい）
- ・生活支援サポーター養成講座のカリキュラムを見直し、開催日を平日から休日に変更して開催したが、参加者は少なかった。更なる見直しが必要と思われる。（長寿生きがい）
- ・町内の小学校での認知症サポーター養成講座を開催できなかった。（長寿生きがい）
- ・チームオレンジによる活動の継続や新規メンバーの参加が引き続き課題である。（長寿生きがい）
- ・高齢者外出支援タクシー利用料金助成および運転免許証自主返納支援については、制度を知らない町民が少なからずいることから、今後もホームページや広報紙などを活用し、いっそうの周知を図っていく必要がある。（長寿生きがい）

3-3-(2) 介護保険制度

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績			
1	指標の内容	介護保険要介護・要支援認定率		
	現状値	R1 年度 14.0%	目標値	R7 年度 16.0% R12 年度 19.0%

実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	15.2%	16.0%	16.6%		
	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	介護保険特別会計繰出事業	長寿生きがい課	R3	R4	R5	R6	R7
			210,180	219,964	230,420		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	介護保険利用料助成事業	長寿生きがい課	R3	R4	R5	R6	R7
			4,026	3,937	4,133		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	介護予防・日常生活支援総合事業(特別会計)	長寿生きがい課	R3	R4	R5	R6	R7
			19,884	23,111	23,384		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・ 地区で中心となり活動していただける応援サポーターを確保するため「ぷらっと嵐トレ応援サポーター養成講座」を開催した。(長寿生きがい)

【効果があったこと】

- ・ コロナの影響で令和2年度から新規立ち上げにつながらない状況であったが、徐々に活動へ前向きとなり、令和5年度には2地区で活動が開始した。(長寿生きがい)

【課題として残ったこと】

- ・ 応援サポーターがいる地区に偏りがある。今後も高齢化が進むことが見込まれるため、各地区において主体的な教室が運営できるよう今後も応援サポーターの確保が必要である。また、自主活動を始めてからの応援サポーターの養成という、逆からのアプローチも検討したい。(長寿生きがい)
- ・ 一体的実施事業により町や健康状態を把握できていない方の訪問等を実施しているが、引き続き介護予防教室への参加や介護保険サービスに結びついていない住民の把握やコロナ禍で閉じこもり傾向となった住民の把握が課題となっている。(長寿生きがい)

◆3-4. 障害者(児)福祉

3-4-(1) 障害者(児)福祉

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績
-----	-----------

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	福祉作業所から一般の会社への就労移行者数(累計)				
	現状値	R1年度 0人		目標値	R7年度 1人 / R12年度 2人	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		3人	4人	7人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	障害者相談支援事業所数				
	現状値	R1年度 3箇所		目標値	R7年度 4箇所 / R12年度 4箇所	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		3箇所	3箇所	3箇所		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
3	指標の内容	施設入所から地域生活への移行者数(累計)				
	現状値	R1年度 0人		目標値	R7年度 1人 / R12年度 2人	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		0人	0人	0人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
4	指標の内容	障害者通所施設利用者数				
	現状値	R1年度 80人 / 年		目標値	R7年度 73人 / 年 R12年度 73人 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		73人	80人	94人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	障害者福祉推進理解事業	福祉課	13	53	86		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	障害者生活支援事業	福祉課	28,567	28,668	29,378		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	障害者相談支援事業	福祉課	1,243	432	2,917		
			R8	R9	R10	R11	R12

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R8	R9	R10	R11	R12
4	社会福祉総務事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			5,814	13,871	30,138		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	障害者福祉施設等支援事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			901	897	900		
			R8	R9	R10	R11	R12
6	補装具給付事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			6,210	4054	2,321		
			R8	R9	R10	R11	R12
7	介護給付・訓練等給付事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			367,963	405,145	408,618		
			R8	R9	R10	R11	R12
8	障害者地域ふれあい事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			104	598	624		
			R8	R9	R10	R11	R12
9	自立支援医療給付事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			20,147	26,667	30,719		
			R8	R9	R10	R11	R12
10	重度心身障害者医療費支給事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			38,981	36,621	36,423		
			R8	R9	R10	R11	R12
11	難病患者支援事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			165	215	225		
			R8	R9	R10	R11	R12
12	障害児通所支援事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			35,078	43,671	55,144		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に規定される障害福祉サービスについて、障害のある方からの希望に基づく障害福祉サービスの提供を実施することができた。（福祉課）

【効果があったこと】

- ・ 法に基づく障害福祉サービスの就労移行支援、就労継続支援を利用していた 3 名が一般企業に就職することができた。（福祉課）
- ・ 障害者作品展を町内にある ARTs さいほくと協働で実施した。展示方法に工夫を凝らし、各作品が映える展示ができた。（福祉課）

【課題として残ったこと】

- ・ 今年度は就労移行支援から 2 名が一般就職に繋がったが、各事業所における就労訓練の支援内容や各々の障害特性により一般企業への就職を毎年度移行できる訳ではない。（福祉課）

●第4節 自然とともに生きるまちづくり

◆4-1. 自然環境と公園・緑地

4-1-(1) 里地・里山・河川の保全と活用

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	里山の維持管理を行うボランティア数(延べ)				
	現状値	R1年度 676人 / 年		目標値	R7年度 750人 / 年 R12年度 800人 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		761人	701人	537人		
R8年度		R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1	自然緑地管理活用事業	環境課	R3	R4	R5	R6	R7
			2,007	2,313	3,025		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	オオムラサキの森管理事業	環境課	R3	R4	R5	R6	R7
			2,102	2,318	4,446		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	トラスト地管理事業	環境課	R3	R4	R5	R6	R7
			465	474	487		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	林業振興事業	農政課	R3	R4	R5	R6	R7
			1,094	875	885		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	河川美化清掃事業	環境課	R3	R4	R5	R6	R7
			0	30	40		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・町内での活動団体(6団体)により、広野、花見台、菅谷、千手堂、鎌形地内他で里地里山の保全管理活動が実施された。(環境課)
- ・オオムラサキの森でカシノナガクイムシによるナラ枯れが発見されたため、伐採19本・燻蒸処理42本の防除を実施した。(環境課)

【効果があったこと】

- ・各団体が工夫した活動を行うことで、里山の維持管理が計画的に進められた。(環境課)
- ・ナラ枯れの原因となるカシナガを一部駆除することができた。(環境課)

【課題として残ったこと】

- ・各団体の構成員が高齢化しているため、後継者の育成と確保が喫緊の課題となっている。(環境課)
- ・里山保全活動にあたり町等からの補助を要望している団体もあり、支援方法について検討する必要がある。(環境課)
- ・ナラ枯れ以外の外来生物による被害が拡大しており、防除・駆除方法について検討する必要がある。(環境課)

4-1-(2) 緑化活動の支援・公園の整備・管理

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	保護樹林及び保護樹木の指定数				
	現状値	R1年度 樹林 54,137 m ² 樹木 14本		目標値	R7年度 樹林 54,137 m ² 樹木 14本 R12年度 樹林 54,137 m ² 樹木 14本	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		樹林 54,137 m ² 樹木 14本	樹林 54,137 m ² 樹木 14本	樹林 54,137 m ² 樹木 14本		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	公園・子どもの遊び場の満足度				
	現状値	R1年度 19.1%		目標値	R7年度 25.0% / R12年度 30.0%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		—	—	—		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1	保護樹木等管理補助事業	環境課	R3	R4	R5	R6	R7
			503	503	503		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	児童遊園地管理事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			83	1,245	299		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	都市公園等管理事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			9,843	10,348	9,202		
			R8	R9	R10	R11	R12

4	フィットネス21パーク管理事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			616	743	592		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	公園等整備事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			8,279	4,867	48,746		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・対象案件全ての所有者に対して補助金を交付することができた。(環境課)
- ・公園の維持管理については、地域からの要望等に応じ、除草や高木伐採を計画的に行った。(まちづくり)
- ・都市公園内の遊具については、法令による定期点検を専門業者に委託し実施した。児童公園内の遊具については、点検研修を受けた職員による老朽化の状況の確認を年1回行っている。また、地区から要望のある遊具については、塗装修繕等を行った。(まちづくり)
- ・公園の除草については、年2回程度の委託としている。しかし、多くの方が利用する公園については、2回を超えて除草する必要があるため、職員による除草作業も実施し対応をしている。(まちづくり)
- ・子育て負担が多い乳幼児期の遊びを支援することを目指し、令和4年度に利用者のワークショップを開催し、その意見に基づき駅西公園のリニューアル工事を行った。工事においては、埼玉県ふるさと創造資金を活用した。リニューアル工事の内容は、駅西公園内のゴムチップ舗装化及び乳幼児対応の遊具の設置である。また、より親しみやすくするため公園の愛称を募集した。28名の方から応募があり、愛称検討委員会を開催し、「らんまるパーク」とすることに決定し、看板も設置した。(まちづくり)
- ・菅谷公園は、令和4年度に道路に張り出した老木化した桜の伐採を行い、関係者と協議し、河津桜と十月桜を新たに植樹した。令和5年度は、平成16年度設置したが近年は利用もなく休止していた水遊び場を利用しやすいように修繕を行った。(まちづくり)
- ・

【効果があったこと】

- ・町内の保護樹木、保護樹林は目標どおり保全が保たれた。(環境課)
- ・剪定・伐採や遊具の点検など公園の維持管理を行うことで、安心安全性に使用できる環境が確保に努めた。職員による除草作業も実施し予算をかけず公園の維持管理に努めた。(まちづくり)
- ・「嵐山まもり隊」など地域住民の方のご協力により維持管理してもらっている公園・緑地もあり町の美化が図られた。(地域支援)
- ・町の玄関口である駅前広場整備に併せ、東西連絡通路にある子育て支援施設「嵐丸ひろば」と連携できるよう低年齢児向けの公園の整備を行ったことにより、更なる子育て支援の対応が図られた。(まちづくり)
- ・全面ゴムチップ化することにより、頻繁に除草作業をしなければ利用できない公園であったが、通年利用できるようになった。(まちづくり)

- ・ 平年と比較し気温が高い夏等が続いている。菅谷公園に簡易に水遊びができるよう修繕したことにより、水遊びがしたいとの声に対応できるようになった。(まちづくり)

【課題として残ったこと】

- ・ 保護樹林及び保護樹木を維持することができたが、乱開発防止等の観点から、保護樹木及び保護樹林の重要性について周知を図り、山林の下草刈り等の適正管理をお願いする必要がある。(環境課)
- ・ 公園等の高木は、伐採等の要望については概ね対応できたが、伐採の必要な樹木は残っており、引き続き計画的に剪定・伐採を進める必要がある。(まちづくり)
- ・ 平沢土地区画整理事業において整備された公園等が、町へ移管されることにより、除草などの維持管理費の増加が見込まれる。(まちづくり)
- ・ 公園では年2回の除草作業の予算では対応しきれないため、職員による除草作業が増加している。しかし、近年の気温の上昇により草の繁茂のスピードが速く、除草が間に合っていない状況が続いている。(まちづくり)
- ・ 児童公園の遊具については、老朽化が進み、利用できない遊具は撤去したが、今後も予備軍が多数存在する。点検結果や利用状況を勘案し地区と相談しつつ、修繕・撤去等を含め対応する必要がある。(まちづくり)
- ・ 駅西公園には、低年齢児用遊具を増やしたが、町民からは、引き続き大型遊具等の設置の要望がある。大型遊具等の設置とともに、遊具の集約化を行う必要がある。(まちづくり)

◆4-2. 持続可能な循環型社会

4-2-(1) 環境美化・環境保護

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	美化清掃運動の参加者数(延べ)				
	現状値	R1年度 8,387人/年		目標値	R7年度 9,000人 / 年 R12年度 9,000人 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		2,530人	7,354人	6,842人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	主体的な道路維持管理団体数 (アダプトプログラム及び嵐山町まもり隊)				
	現状値	R1年度 24団体		目標値	R7年度 30団体 / R12年度 35団体	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		32団体	33団体	36団体		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
3	指標の内容	空き家バンクの売買件数(累計)				
	現状値	R1年度 11件 (H29~R1年度)		目標値	R7年度 15件 (R3~R7年度) R12年度 20件 (R8~R12年度)	

実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	3件	2件	1件		
	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	環境美化推進委員運営事業	環境課	248	265	265		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	美化清掃事業	環境課	903	1,715	1,764		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	河川美化清掃事業	環境課	0	30	40		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	ぼい捨て・路上喫煙防止対策事業	環境課	261	269	262		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	嵐山まもり隊支援事業	地域支援課	180	313	349		
			R8	R9	R10	R11	R12
6	畜犬登録事務事業	環境課	52	88	90		
			R8	R9	R10	R11	R12
7	地域猫活動推進事業	環境課	205	265	205		
			R8	R9	R10	R11	R12
8	外来生物対策事業	環境課	515	558	558		
			R8	R9	R10	R11	R12
9	空き家等管理事業	環境課	R3	R4	R5	R6	R7

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			27	1,131	3		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・春と秋の美化清掃活動については、コロナ禍が明けたことにより例年どおり実施することができた。(環境課)

【効果があったこと】

- ・春と秋の美化清掃活動では多くの町民が参加し、快適で美しく清潔な居住環境を整えるといった活動目的は達せられた。(環境課)

【課題として残ったこと】

- ・少子高齢化が進んでおり、高齢者のみの世帯が増加しており、美化清掃事業への参加者数の減少が予測されるため、今後の実施方法など検討が必要である。(環境課)
- ・「嵐山町ゼロカーボンシティ宣言」に基づき、今後の町としての地球温暖化に向けた取り組みについて、令和5年度に改定した「第2次嵐山町環境基本計画」に二酸化炭素排出実質ゼロに向けた具体的な施策を位置付ける必要がある。(環境課)
- ・空き家バンクの登録件数が少ないため、空き家管理者に対して、制度の周知及び登録を推進する必要がある。(環境課)

4-2-(2) ごみの適正管理

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	事業系ごみ排出量				
	現状値	R1年度 1,544トン / 年		目標値	R7年度 1,297トン / 年 R12年度 1,235トン / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		1,380トン	1,450トン	1,402トン		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	1人1日当たりのもえるごみの処理量(家庭系)				
	現状値	R1年度 417g / 日		目標値	R7年度 350g / 日 R12年度 333g / 日	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		450g	414g	389g		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
3	指標の内容	1人1日当たりのもえないごみの処理量(家庭系)				
	現状値	R1年度 28g / 日		目標値	R7年度 24g / 日 R12年度 22g / 日	

	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		49g	45g	57g		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
4.	指標の内容	1人1日当たりの資源ごみの処理量(家庭系)				
	現状値	R1年度 93g / 日		目標値	R7年度 78g / 日 R12年度 74g / 日	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		77g	78g	68g		
R8年度		R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	
5	指標の内容	生ゴミ処理機設置補助金交付件数				
	現状値	R1年度 コンポスト 8件 / 年 電気式 3件 / 年		目標値	R7年度 10件 / 年 5件 / 年 R12年度 10件 / 年 5件 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		コンポスト 8件 電気式 4件	コンポスト 14件 電気式 10件	コンポスト 11件 電気式 9件		
R8年度		R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	ごみ減量化推進事業	環境課					
			543	758	804		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	ごみ資源収集運搬事業	環境課					
			84,614	97,551	100,642		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	不法投棄物処理事業	環境課					
			424	551	526		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	一部事務組合塵芥処理費負担事業	環境課					
			164,909	244,272	230,261		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	一部事務組合し尿処理費負担事業	環境課					
			42,789	33,717	46,353		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・ごみの減量化及び生ごみ処理機設置補助金については、広報、ホームページ、ごみ・資源分別収集カレンダー等を通じて周知を図った。(環境課)
- ・町のホームページ内にごみ分別検索機能を追加した。(環境課)
- ・毎月広報誌及びホームページにもえるごみ、不燃ごみ、資源ごみの収集量を掲載し、ごみ減量化の周知を図った。(環境課)

【効果があったこと】

- ・事業系ごみの排出量及び1人1日当たりのもえるごみの処理量に関しては、令和元年度と比較すると減量化が図られた。(環境課)

【課題として残ったこと】

- ・1人1日当たりのもえないごみの処理量は令和元年度と比較し増加しており、町全体で減量化を図る必要がある。広報紙などを活用し減量化について目に見える形で周知する必要がある。(環境課)
- ・資源ごみの量も減少しているため、リサイクルの推進を図る必要がある。(環境課)
- ・生ごみ処理機設置補助金については、前年度より減少しているが、町の生ごみ減量化に係る重要施策であるため、補助拡大を含め検討する必要がある。(環境課)

4-2-(3) 公害防止対策

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	環境に対する苦情数				
	現状値	150件 (R2年度見込み値)		目標値	R7年度 140件 / R12年度 130件	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		109件	131件	145件		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	BOD (生物化学的酸素要求量) 【市野川水系】				
	現状値	R1年度 矢崎橋 2.0 mg / L 相生橋 1.5 mg / L		目標値	R7年度 3 mg / L 以下 R12年度 3 mg / L 以下	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		矢崎橋 2.0 mg / L 相生橋 2.3 mg / L	矢崎橋 2.2 mg / L 相生橋 1.4 mg / L	矢崎橋 2.9 mg / L 相生橋 2.0 mg / L		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
3	指標の内容	BOD (生物化学的酸素要求量) 【槻川水系】				
	現状値	R1年度 谷川橋 0.6 mg / L 槻川橋 0.7 mg / L		目標値	R7年度 3 mg / L 以下 R12年度 3 mg / L 以下	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		谷川橋 0.9 mg / L 槻川橋 0.6 mg / L	谷川橋 0.6 mg / L 槻川橋 0.6 mg / L	谷川橋 0.9 mg / L 槻川橋 1.0 mg / L		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
4	指標の内容	BOD (生物化学的酸素要求量) 【都幾川水系】				
	現状値	R1年度 八幡橋 0.6 mg / L 二瀬橋 0.7 mg / L		目標値	R7年度 2 mg / L 以下 R12年度 2 mg / L 以下	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		八幡橋 0.7 mg / L 二瀬橋 0.9 mg / L	八幡橋 0.5 mg / L 二瀬橋 0.6 mg / L	八幡橋 0.6 mg / L 二瀬橋 0.7 mg / L		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1	水質等調査事業	環境課	R3	R4	R5	R6	R7
			2,869	3,370	2,670		
			R8	R9	R10	R11	R12

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
2	公害対策総務事業	環境課					
			18	17	17		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・ 環境課に寄せられた苦情について適宜対応を行った。(環境課)
- ・ BOD (生物化学的酸素要求量) に係る水質検査を、5・7・10・1月の年4回実施した。(環境課)

【効果があったこと】

- ・ 不法投棄については、全課合同の清掃管理活動により毎月町内を巡回し回収しているため、不法投棄ゴミは少なくなっている。(環境課)
- ・ 町内を流れる河川の水質状況を把握し、今後の環境保全のための基礎資料を得ることができた。(環境課)

【課題として残ったこと】

- ・ 空き家や空き地に関する苦情は多く寄せられている。引き続き広報などを通じ、所有地等の適正管理についてお願いをしていく必要がある。(環境課)
- ・ BODの測定値に関しては、一部地点で環境基準を超過したが、年間を通じて大きな変動はなかった。その他の項目で基準超過する項目も見受けられたので、その原因究明に努める必要がある。(環境課)

◆4-3. 上下水道

4-3-(1) 上水道施設

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
	指標の内容	有収率				
1	現状値	R1年度 93.22%		目標値	R7年度 93.50% / R12年度 94.00%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		91.97%	93.21%	93.27%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	配水管網整備 (特別会計)	上下水道課					
			48,206	124,143	124,121		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	基幹管路耐震化事業 (特別会計)	上下水道課					
			0	0	0		
			R8	R9	R10	R11	R12

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
3	設備更新事業 (特別会計)	上下水道課	11,579	2,739	36,347		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	設備整備事業 (特別会計)	上下水道課	0	17,351	96,900		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	経営効率化事業 (特別会計)	上下水道課	21,890	23,870	25,850		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・水道施設及び設備の更新については、配水流量計更新や老朽管更新などの工事を計画に基づき実施した。(上下水道課)
- ・「嵐山町第2次地域水道ビジョン」に基づき、安全で安心な水の安定供給及び自己資金で投資を行った。(上下水道課)
- ・新浄配水場の整備に向け、導送水管の布設工事を実施した。(令和6年度完了予定)(上下水道課)

【効果があったこと】

- ・有収率は対前年度比0.06ポイント上昇し、水道水の安定供給を実施することができた。(上下水道課)
- ・計画的な投資により健全な事業経営を継続することができた。(上下水道課)

【課題として残ったこと】

- ・水道施設等老朽化による漏水件数が令和4年度の156件から令和5年度は153件に増加若干減少した。今後も安全な水を安定して供給するため、老朽化している施設等の更新・耐震化が必要となる。(上下水道課)
- ・人口減少による給水人口の減少の傾向は引続き進んでいるため、長期的な投資計画に基づく財源の確保が課題である。(上下水道課)

4-3-(2) 生活排水処理施設

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
	指標の内容	公共下水道人口普及率				
1	現状値	R1年度 67.5%		目標値	R7年度 70.0% / R12年度 72.5%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		68.0%	68.5%	68.8%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

2	指標の内容	合併処理浄化槽人口普及率				
	現状値	R1年度 23.7%		目標値	R7年度 26.7% / R12年度 27.2%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		24.6%	24.5%	24.2%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
3	指標の内容	汚水処理人口普及率				
	現状値	R1年度 91.2%		目標値	R7年度 96.7% / R12年度 99.7%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		91.8%	92.2%	92.4%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1	公共下水道整備事業 (管渠建設改良費・流域下水道建設負担金)	上下水道課	R3	R4	R5	R6	R7
			37,922	45,258	72,065		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	都市下水道管理事業	上下水道課	R3	R4	R5	R6	R7
			1,701	1,862	2,704		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	浄化槽市町村整備事業 (固定資産購入費)	上下水道課	R3	R4	R5	R6	R7
			20,528	18,715	16,014		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	公共下水道維持管理事業 (管渠費・流域下水道維持管理負担金・総係費)	上下水道課	R3	R4	R5	R6	R7
			210,546	224,424	233,850		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	浄化槽市町村維持管理事業 (浄化槽費)	上下水道課	R3	R4	R5	R6	R7
			60,780	58,006	58,240		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- 令和2年度策定のストックマネジメント計画に基づき、管路施設の長寿命化に資するため、花見台幹線(562m)においてTVカメラ調査を行い、また、花見台幹線のマンホール(131箇所)を目視調査を行い、点検・調査・緊急度及び健全度ランク付け作業を実施した。(上下水道課)
- 令和3年度実施のカメラ調査結果から、公共下水道嵐山第4汚水幹線の管渠33mの布設替工事を実施

した。(上下水道課)

- ・ 公共下水道マンホールポンプ菅谷No.1内の配管(仕切弁・逆止弁)と菅谷No.2のポンプ1基及び配管(仕切弁・逆止弁)の更新工事を行った。(上下水道課)
- ・ 生活排水による公共水域の汚濁を防止し、快適な生活環境の向上を図るため、町管理型浄化槽の設置の推進を行った。(購入15基)(上下水道課)

【効果があったこと】

- ・ TVカメラ及びマンホール調査により、調査箇所の管渠及びマンホールの劣化状況を確認できたことで、今後、計画的に修繕や更新を行うことができる(上下水道課)
- ・ マンホールポンプ場の配管(仕切弁・逆止弁)を更新したことで、汚水が効率かつ安定的に圧送することができる。また、ポンプのメンテナンスも容易に行える。(上下水道課)
- ・ 浄化槽市町村整備推進事業では、単独浄化槽から3基転換されたことにより、公共水域の水質向上に寄与した。また、汚水処理人口普及率が0.2ポイント上昇し92.4%となった。(町管理型浄化槽設置基数15基)(上下水道課)

【課題として残ったこと】

- ・ TVカメラ及びマンホール調査結果により、管渠及びマンホールの劣化状況が確認された。今後、判定結果を基に計画的に修繕及び更新を行う必要がある。(上下水道課)
- ・ 浄化槽市町村整備推進事業は、令和4年度から第2期事業が始まったが、年々整備基数が鈍化傾向にあり、申込基数を増やすことが課題である。(上下水道課)

●第5節 安全・安心で活力あるまちづくり

◆5-1. 安全・安心なまちづくり

5-1-(1) 交通安全対策

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	交通事故(人身事故)発生件数				
	現状値	R1年度 54件 / 年		目標値	R7年度 50件/年 / R12年度 35/年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		36件	42件	47件		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1	交通指導員運営事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			1451	1,369	1,420		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	コミュニティ推進事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			7,133	2,032	2,227		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	交通安全対策協議会運営事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			0	0	0		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	交通安全施策推進事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			405	414	379		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	交通安全施設管理事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			2,387	2,797	3,967		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・交通指導員による朝の登校指導を200日実施した。(地域支援課)
- ・交通安全の啓発看板を要望があった場所に速やか設置した。(地域支援課)
- ・交通安全施設であるカーブミラーや区画線等について、地域の要望等を踏まえ設置及び修繕等を行った。特に通学路を中心に予算の範囲内で区画線の引き直しを実施した。(まちづくり)

【効果があったこと】

- カーブミラーや区画線等の交通安全施設を設置及び修繕することにより、安全な通行に寄与している。
(まちづくり)

【課題として残ったこと】

- 昨年と比較して、人身事故発生件数が増加してしまった。警察と連携し、危険個所の対策等行なう必要がある。(地域支援課)
- 地元要望のあった箇所に対する交通安全対策について危険個所を優先して実施すべきかとは思うが、財源確保が課題となっている。(地域支援課)
- 予算の範囲内での交通安全施設の整備であるため、消えている道路の区画線等は全町に広がっている。要望のあった箇所や通学路を中心に引き直しを実施しているが、町内全域で修繕を行う経費は不足し、年度を超えて対応している。(まちづくり)
- 年度末にカーブミラー等の要望が多く出されたので予算に限りがあり、次年度に設置することになってしまった。今後も財源の確保が課題である。(まちづくり)

5-1-(2) 防犯対策・消費生活

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	犯罪発生件数				
	現状値	R1年度 112件 / 年		目標値	R7年度 100件 / 年 R12年度 90件 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		100件	112件	133件		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	防犯ボランティア登録者数				
	現状値	R1年度 1,015人		目標値	R7年度 1,200人 / R12年度 1,400人	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		1,033人	1,036人	1,023人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
3	指標の内容	東松山消費生活センターの相談件数				
	現状値	R1年度 37件 / 年		目標値	R7年度 35件 / 年 R12年度 32件 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		32件	33件	46件		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費
-----	-------	-----	-----

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	防犯対策事業	地域支援課					
			759	909	4,133		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	嵐山パトロールセンター管理事業	地域支援課					
			267	273	287		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	道路照明灯施設設置事業	まちづくり整備課					
			6,365	6,370	7,353		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	道路照明灯施設管理事業	まちづくり整備課					
			10,353	13,003	12,532		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	消費者行政推進事業	企業支援課					
			873	873	974		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・地域やPTA等による下校の見守りをメインとしたパトロール活動を実施した。(地域支援課)
- ・防災行政無線やメール配信サービス「嵐山町あんしんメール」を活用し防犯情報等を町民へ提供した。(地域支援課)
- ・特殊詐欺対策電話機の購入費を補助し、65歳以上の町民を対象に330件交付した。(地域支援課)
- ・新たな防犯灯(LED)については、地区の要望に対し、予算の範囲内において基準に見合った場所に設置することができた。今年度は16基設置を行った。(まちづくり)
- ・県より案内がある「くらしの110番」の定期的な広報紙への掲載及び「高齢者を守るお助けかわらばん」の町ホームページへの掲載により、町民への啓発を図った。(企業支援課)
- ・近隣市町村と共同で設置している「東松山市消費生活センター」において、相談業務を実施した。(企業支援課)

【効果があったこと】

- ・児童・生徒に関する事件は発生していない。(地域支援課)
- ・特殊詐欺対策電話機の購入費補助事業の期間中、詐欺被害が無かった。(地域支援課)
- ・防犯灯に設置により、犯罪の抑止や交通事故の防止に寄与していると思われる。(まちづくり)
- ・毎月の広報活動により、消費生活センターに寄せられる相談事例を共有したことにより、相談件数は前年度とほとんど変わらず推移した。(企業支援課)

【課題として残ったこと】

- ・ 犯罪発生件数が令和 4 年度の 119 件から令和 5 年度は 133 件と増加している。今後も詐欺、悪質商法などの契約トラブルに巻き込まれないように広報等を活用し情報提供を行っていく。(地域支援課)
- ・ 振り込め詐欺に関しては、あんしんメールや防災無線等で呼びかけているものの、依然として被害が発生しているため、継続的な対策が必要である。(地域支援課)
- ・ 道路照明灯など大型電灯は LED 化されていない。不点となり同器具で修繕不能な場合、LED 化することとしているが、LED 化するための費用の確保が課題である。(まちづくり)
- ・ 令和 5 年度は防犯灯の地区からの要望が多く、全ての要望に対応することができず、令和 6 年度に持ち越すこととなった。今後も財源の確保が課題となっている。(まちづくり)
- ・ 防犯灯 LED 化は、機器リースとして支払いを行っている。リースが終了した後の修繕については、10 年が経過すると耐用年数が切れるため、修繕費用が必要となることが予想される。財源確保が課題である。(まちづくり)
- ・ 消費者行政推進事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、消費生活講座を実施することができなかった。(企業支援課)

5-1-(3) 消防・防災

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	自主防災組織における防災訓練の実施数				
	現状値	R1 年度 35 回 / 年		目標値	R7 年度 36 回 / 年 R12 年度 36 回 / 年	
	実績値	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
		18 回	12 回	25 回		
		R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度
2	指標の内容	災害協定締結数(累計)				
	現状値	R1 年度 28 団体		目標値	R7 年度 33 団体 R12 年度 38 団体	
	実績値	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
		42 団体	52 団体	55 団体		
		R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1	一部事務組合常備消防負担事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			295,607	296,931	299,100		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	一部事務組合非常備消防負担事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			23,241	25,658	28,762		
			R8	R9	R10	R11	R12

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
3	防災対策事業	地域支援課	R4	R5	R6	R7	R8
			10,491	1,402	1,211		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	消防施設整備管理事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			41,560	1,561	1,764		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	消防審議会運営事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			0	0	20		
			R8	R9	R10	R11	R12
6	自主防災組織育成事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			236	426	563		
			R8	R9	R10	R11	R12
7	総合相談事業 (特別会計)	長寿生きがい課	R3	R4	R5	R6	R7
			1,435	1,199	1,197		
			R8	R9	R10	R11	R12
8	防災訓練事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			0	0	200		
			R8	R9	R10	R11	R12
9	防災行政無線施設整備管理事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			4,419	5,761	5,685		
			R8	R9	R10	R11	R12
10	耐震化促進事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			113	340	368		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・ 12 の自主防災会が合計 25 回の防災訓練を実施した。(地域支援課)
- ・ 各防災会に訓練時の消防団の活用を呼び掛けた。(地域支援課)
- ・ 災害協定を 3 社と締結した。(地域支援課)
- ・ R3 年度末に全戸配布したハザードマップ(防災地図)の内容説明等を地域に実施した。(地域支援課)
- ・ 木造住宅の耐震診断・耐震改修・耐震改修に伴うリフォーム等補助金及びブロック塀の除去する経費に対する補助金については、広報紙やホームページ、回覧等を通じ啓発し、補助金の案内を行った。(まちづくり)

- ・令和5年度は耐震診断・改修等の申請はなく、危険ブロック塀の撤去補助を3件実施した。(まちづくり)
- ・令和4年度より実施している町内業者の活性化のための住宅リフォーム事業を引き続き実施した。令和5年度は44件の利用があった。(まちづくり)
- ・志賀沢川(志賀地内)の河川浚渫工事を令和3年度から計画的に実施し、令和5年度で終了した。令和5年度は堆積土砂整地と伐木等を行い、河道の確保が図られた。(まちづくり)

【効果があったこと】

- ・各防災会が自主的に訓練を実施することで、災害対策における意識を醸成できた。(地域支援課)
- ・地域の防災訓練に消防団がサポート参加することで、相互の連携がより深まった。(地域支援課)
- ・災害時の備えとなる災害協定を締結することで、災害時に入手が難しくなる物資等の確保が可能となった。(地域支援課)
- ・耐震性能を備えた戸数が60件(新築38件、改築22件)増加したことにより、住宅の安全性が向上した。個人住宅の耐震化については、老朽化した住宅でもあるため、耐震より建て替えとなる傾向にある。(まちづくり)
- ・通学路等における危険ブロック塀の撤去に対する補助金の利用者が3件あった。(R4 同件数)(まちづくり)
- ・住宅リフォームは44件の実績があり、耐震までとはいかないが、宅地の安全性の確保につながった。また、町内業者の育成にも寄与している。(まちづくり)
- ・集落地を流れる志賀沢川を浚渫したことにより、河道を確保し、地域の安全性が向上した。(まちづくり)

【課題として残ったこと】

- ・災害協定については、大規模災害時に協定先がどこまで対応可能か不明確な部分が多いため、今後も協定先の拡充と幅広い業種との協定が必要である。(地域支援課)
- ・昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建築された住宅は、耐震化の改修を行うより建替となるケースが多く、耐震改修による耐震化率は向上していない。近年の大規模災害により耐震化への関心の高まりはありと思われるが、自己負担額も多く、実際に耐震化する事例は出ていない。(まちづくり)
- ・嵐山町建築物耐震改修促進計画は埼玉県の計画にあわせた目標としており、引続き耐震改修の重要性について今後も啓発を進め、個人住宅の耐震化率の向上を図る必要がある。ブロック塀については、引き続き撤去補助の啓発を行い、災害に強いまちづくりを進めることが必要である。(まちづくり)
- ・住宅リフォームは、他市町村にない手厚い補助であるが予算の確保が課題であり、申請件数に対応できず補正予算にて計上した。令和6年度からは1件5万円を上限として多くの方に対応できるよう見直しを行った。(まちづくり)
- ・緊急浚渫推進事業債を活用して普通河川の浚渫を実施したが、本制度の期間は限られている。数十年後には再び土砂が溜まってくると思われるため、浚渫の必要性が出てくると思われるが、財源がない場合の対応が課題となってくる。(まちづくり)

◆5-2.計画的なまちづくり

5-2-(1) 地域の個性あるまちづくり

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	平沢土地区画整理事業の進捗率				
	現状値	R1年度 96.7%		目標値	R7年度 100% / R12年度 100%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		99.1%	99.3%	99.6%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	武蔵嵐山駅の乗降客数				
	現状値	R1年度 7,287人 / 日平均		目標値	R7年度 8,500人 / 日平均 R12年度 8,000人 / 日平均	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		5,942人	6,328人	6,405人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
3	指標の内容	西口駅前広場の整備率				
	現状値	R1年度 0%		目標値	R7年度 100% / R12年度 100%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		53.2%	88.9%	94.4%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	都市計画総務事業	まちづくり整備課					
			44	44	46		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	都市計画審議会運営事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			204	0	66		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	平沢土地区画整理事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			36,000	15,000	53,167		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	武蔵嵐山駅西口地区整備事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			81,143	53,830	194,733		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	武蔵嵐山駅東西連絡通路・駅前広場管理事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			3,943	4,653	6,477		
			R8	R9	R10	R11	R12
6	駐輪場管理事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			386	386	386		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・平沢土地区画整理事業は、清算金徴収交付事務を令和5年度から開始した。清算金交付については概ね完了した。徴収についても順調に進んでいる。(まちづくり)
- ・武蔵嵐山駅西口整備事業については、全て工事を発注し、駅前広場部分の道路工事は終了した。(まちづくり)
- ・武蔵嵐山駅西口の放置自転車に対する取り締まりを実施し、引き取り手のない車両の撤去処分を行った。(まちづくり)
- ・武蔵嵐山停車場線沿線のドラッグストアの開業に併せ、町民の要望の高い県道の歩道の拡幅を行った。ドラッグストア予定敷地内の町の用地と交換することにより、1m程度の歩道から2.5mの歩道用地を生み出した。埼玉県により舗装等が行われた。(まちづくり)
- ・嵐山町エリアリノベーション支援事業は4年目となった。エリアリノベーション事業推進要綱に基づき、町のエリアリノベーション事業を継続して推進する意思のある個人2名の方より提案企画書に基づくイベントが開催され、支援を行った。イベントの内容は、武蔵嵐山駅連絡通路でマーケット5回、菅谷公園にて親子フリーマーケットを2回開催した。また東京電機大学の助教を講師に迎え講演会を1回開催した。(まちづくり)

- ・第2次都市計画マスタープランにも位置づけられている立地適正化計画の策定に取り組んでいる。令和5年度は、関係各課による庁内会議の開催や国土交通省が示す立地適正化計画策定の手引きに基づく町の分析等の委託業務を行った。(まちづくり)

【効果があったこと】

- ・土地区画整理事業がほぼ終了し、清算金徴収交付事務まで進めることができ、組合解散間近となった。令和6年度に解散総会を行うことを予定している。平沢土地区画整理事業は、現在町の商業地の中心的地域として機能している。(まちづくり)
- ・「嵐山町の玄関口の活力の復活」を目標とし、「武蔵嵐山駅西口の良好で魅力的空間の形成」、「武蔵嵐山駅周辺的环境整備と利便性の向上」を図るため、西口駅前が大きく変わり、機運の高まりがある。(まちづくり)
- ・町民から要望の高い武蔵嵐山停車場線の一部歩道の拡幅が図られ、児童・生徒がより安全に通行できるようになった。(まちづくり)
- ・武蔵嵐山駅西口の放置自転車の減少により、良好な環境を確保することができている。(まちづくり)
- ・嵐山町エリアリノベーション事業推進要綱による提案企画により、町のエリアリノベーションの実現にむけ、まちのプレーヤー発掘を促し、支援することができた。「ちょっと楽しい、ちょっと面白い、ちょっと心地よい」魅力的なエリアが生まれるよう努めている。(まちづくり)
- ・国県の都市計画のプランとなっているコンパクトプラスネットワークのまちづくりのため、分析や検討を行い、改めて嵐山町の都市計画について検討した。(まちづくり)

【課題として残ったこと】

- ・平沢土地区画整理事業においては、更なる住宅の増加を図り、人口増加に結びつけることが必要である。平沢土地区画整理組合については、令和6年度解散に向けて準備を進める必要がある。所有者不明の土地等の清算金の徴収について解決することが課題である。(まちづくり)
- ・武蔵嵐山駅西口事業は、関係機関・隣地関係者との協議を早急に進め、工事施行を早期に終了させることが必要である。駅前広場の道路部分の工事は令和6年度で終了したが、大屋根・シェルター工事は、関係機関との協議に不測の時間を要したため、年度内に終了することはできなかった。令和6年中に菅谷36号線雨水管工事及び道路工事等を含めて完成させることを目指している。(まちづくり)
- ・「Emo-Town. Pro#らんざん」において令和6年度以降も、引き続きアイデアを具体的なイベントとして実現していくことが課題となっている。それにより、魅力的なエリアが醸成できることとなる。エリアリノベーションは民間事業者が主導し、原則、補助金に頼らず、自らの資金で魅力的なエリアを創出することが目的であり、継続的にエリアリノベーションを進めるため、エリアプロデューサーの発掘が喫緊の育成が課題である。(まちづくり)
- ・嵐山町は住宅系の市街化区域が1箇所のみであり、既にコンパクトなまちづくりを進めている。今後は更なる人口減少を見据えたまちづくりをする計画策定を行っていくが、どのように実現性を担保できるかが課題となってくると思われる。(まちづくり)

5-2-(2) 道路整備

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	計画道路の整備延長（平沢川島線・月輪川島線）				
	現状値	R1年度 1.5km（R2年度見込み値）		目標値	R7年度 1.9km / R12年度 2.8km	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		1.5 km	1.5 km	1.5 km		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1	幹線道路整備事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			28,368	20,362	5,636		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	生活道路整備事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			5,398	27,003	2,913		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	道路管理事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			10,585	8,005	12,348		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	道路維持事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			7,191	7,993	11,902		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	道路修繕事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			53,555	91,734	57,323		
			R8	R9	R10	R11	R12
6	橋りょう改修事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			38,824	6,268	5,521		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・都市計画道路の整備については、令和4年度用地測量業務を実施し、令和5年度より用地交渉を実施している。(まちづくり)
- ・生活道路については、地元要望として長年懸案事項であった町道根岸10号線に着手している。令和5年度は用地買収が完了することができた。令和6年度に工事を行う予定である。(まちづくり)
- ・道路修繕計画において路面性状の判定の悪い道路の舗装修繕を実施した。予算の範囲内であるため、

令和5年度は花見台3号線の520m実施となった。(まちづくり)

- ・平成30年度に実施し、5年に一度策定することとなっている路面性状・舗装たわみ量調査及び舗装維持修繕計画を5年ぶりに策定した。主要幹線道路の舗装状況を確認し、令和6年度からの5年間の修繕計画を策定した。(まちづくり)
- ・橋りょう点検については、法令に基づき各橋5年に一度の点検を実施することとなっている。令和5年度は計画どおり14橋の点検を実施し、修繕等は必要ないことが確認された。(まちづくり)
- ・地区からの要望のあった道路修繕や側溝整備等については、予算の範囲内で応急的な修繕を行った。舗装修繕を5箇所、側溝修繕を12箇所、道路修繕を13箇所、道路砂利敷を28箇所実施した。(まちづくり)

【効果があったこと】

- ・長年要望のあった、根岸10号線の整備に着手している。令和6年度工事が待たれている。(まちづくり)
- ・舗装の傷みが激しい箇所の修繕することができ、安全に走行することができるようになった。(まちづくり)
- ・舗装の状況を確認して、令和6年度からの5年間の修繕計画を策定し、順次修繕等を行う必要性が確認できた。(まちづくり)
- ・生活道路の修繕の要望は多い。応急的な修繕を実施し、安全な通行に寄与していると思われる。(まちづくり)
- ・橋梁点検は計画通り進んでおり、今年度も修繕が必要な橋梁がないことが確認された。(まちづくり)

【課題として残ったこと】

- ・都市計画道路は昭和の整備が長年の課題となっている。地権者の用地交渉を始め、他方面の調整を行う必要がある。令和6年度中には工業団地予定地までの用地の確保をする必要がある。(まちづくり)
- ・舗装修繕については、点検結果により計画的に修繕の実施が必要であるが、予算に限りがある。必要な修繕を行うため、財源確保が課題である。(まちづくり)
- ・生活道路の舗装や道路側溝については、要望も多いが、国県の補助がなく、要望通り施工ができていない。予算も限りがあるため、応急的な修繕により当面の安全性は確保できているが、根本的な修繕は難しい状況となっている。財源の確保が引き続き課題となっている。(まちづくり)
- ・橋梁の修繕については、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき実施することとなっているが、5年ごとの定期点検での判定が「早期措置段階」「緊急措置段階」とされた場合、優先的に修繕を行わなければならないため、予防修繕の計画が先送りとなっている。橋りょう長寿命化修繕計画に基づく予防修繕における財源確保が課題である。(まちづくり)
- ・歩道整備も要望されている箇所が多数あるが、国庫補助の対象となる要件も限られており、整備が長年の課題となっている。(まちづくり)

5-2-(3)公共交通

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	公共交通に対する不満足度				
	現状値	R1年度 —		目標値	R7年度 25.0% / R12年度 20.0%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		—	—	—		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	移転したいと思う人の理由として交通が不便と答える人の割合				
	現状値	R1年度 34.9%		目標値	R7年度 30.0% / R12年度 25.0%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		—	—	—		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1	広域路線バス運行事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			3,143	3,220	3,456		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	高齢者外出支援事業	長寿生きがい課	R3	R4	R5	R6	R7
			10,222	13,105	14,684		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・ 地域住民の日常生活に必要な交通手段を広域的に確保するため、町内を運行する広域バス路線のバス会社に対し支援を行った。(地域支援課)
- ・ 68歳以上の運転免許証を所持していない高齢者にタクシー助成券を交付した。(長寿)

【効果があったこと】

- ・ 継続的な支援を実施することで広域バス路線を維持し、地域住民の交通手段を確保することができた。(地域支援課)
- ・ 高齢者の日常生活の利便性と社会参加の促進に寄与した。(長寿)

【課題として残ったこと】

- ・ 超高齢化社会を迎え、高齢者の買い物や通院など交通手段の確保が大きな課題である。路線バスだけでなく、コミュニティバスやデマンド交通など住民の交通需要はさらに高まると思われるため、町全体で今後の地域公共交通を考える必要がある。(地域支援課)
- ・ 高齢化の進展に伴い年々事業費が増大しており財源の確保が課題である。(長寿)

◆5-3. 産業

5-3-(1) 農林業

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	認定農業者の平均年齢				
	現状値	R1年度 60.3歳		目標値	R7年度 60歳 R12年度 60歳	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		62.3歳	64.1歳	62.9歳		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	水田の利用集積率				
	現状値	R1年度 65.8%		目標値	R7年度 68.0% / R12年度 70.0%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		72.7%	73.6%	71.0%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
3	指標の内容	農産物直売所における農業者の売上高				
	現状値	R1年度 179百万円		目標値	R7年度 190百万円 R12年度 200百万円	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		180百万円	180百万円	165百万円		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
4	指標の内容	小麦農林61号協賛店数(累計)				
	現状値	R1年度 12店		目標値	R7年度 17店 R12年度 20店	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		15店	15店	13店		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
5	指標の内容	農業参入した企業				
	現状値	R1年度 1社 (R2年度見込み値)		目標値	R7年度 2社 / R12年度 3社	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		1社	1社	1社		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
6	指標の内容	新規就農者の数				
	現状値	3人 (H28~R2年度)		目標値	5人 (R3 ~ R7年度) 5人 (R8 ~ R12年度)	

No.	目標値と年度別実績				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
実績値	3人 (R3~R7年度)	5人	5人		
	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	多面的機能支援事業	農政課					
			6,023	5,814	5,969		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	土地改良事業	農政課	R3	R4	R5	R6	R7
			11,740	13,350	13,033		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	農業用施設整備事業	農政課	R3	R4	R5	R6	R7
			50,504	41,287	22,571		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	農業振興事業	農政課	R3	R4	R5	R6	R7
			632	1,089	516		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	農業者支援事業	農政課	R3	R4	R5	R6	R7
			23,833	36,610	20,392		
			R8	R9	R10	R11	R12
6	担い手育成嵐丸塾運営事業	農政課	R3	R4	R5	R6	R7
			1,640	2,040	110		
			R8	R9	R10	R11	R12
7	地産地消事業	農政課	R3	R4	R5	R6	R7
			150	147	248		
			R8	R9	R10	R11	R12
8	畜産振興事業	農政課	R3	R4	R5	R6	R7
			326	310	221		
			R8	R9	R10	R11	R12
9	観光地域づくり法人推進事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			66,728	80,000	—		
			R8	R9	R10	R11	R12

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
10	林業振興事業	農政課	1,094	874	885		
			R8	R9	R10	R11	R12
11	観光協会補助事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			—	—	15,100		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・ 新型コロナの影響が長期化する中、燃料・肥料・資材等の高騰で影響を受けている町内販売農家へ国の臨時交付金を活用し、経済的負担の軽減と農業経営の安定化を図るため支援をした。（農政）
- ・ 味菜工房が8月に撤退したことにより農畜産物加工施設が空きとなったが公募を図ったことで新たな使用者が決定した。（農政）
- ・ 「らんざん農林61マップ」を更新し、「農林61号」を使用した商品が食べられる・購入できる店舗をPRした。（農政）

【効果があったこと】

- ・ 町内販売農家へ支援を行うことで経済的負担軽減となり生産者の生産意識が高まりや農業経営の継続につながった。（農政）

【課題として残ったこと】

- ・ 嵐丸塾卒塾生の経営が安定するまでのフォロー及び新たな塾生の確保が必要である。（農政）
- ・ 農畜産物加工施設が新たな使用者に変わったことで農産物直売所の弁当や総菜など加工品に対する需要をどう拡大していくかが課題となっている。（農政）
- ・ 小麦の生産面積は、乾燥調製、製粉対応が可能である最大量の13.8haとなっている。今後、協賛店からの需要に応じた小麦の生産及び提供が課題となっている。（農政）

5-3-(2) 商業

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績				
	指標の内容	年間総商品販売額			
1	現状値	H28年度 19,818百万円		目標値	R7年度 28,000百万円 R12年度 29,000百万円
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		19,903 経済センサス 令和5年発表			
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
2	指標の内容	駅周辺の空き店舗又は空き家の利活用数(累計)			

現状値	1 件 (H29～R2 年度)		目標値	R7 年度 1 件 (R3～R7 年度) R12 年度 1 件 (R8～R12 年度)	
実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	0 件	1 件	3 件		
	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

※商業統計の廃止により経済センサスより算出

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
			R3	R4	R5	R6	R7
1	商工会補助事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			6,730	6,860	5,970		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	地域商業等活力創出支援事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			100	500	1,400		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	地域活力創出拠点管理事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			5,191	4,849	8,641		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・ 創業を考えている、また開業して間もない方を対象にらんざん創業塾を開催し、令和 45 年度は 146 名の参加があった。(企業支援)
- ・ 商工会と協力し、嵐山町空き店舗等活用事業費補助金の活用を図った。(企業支援)
- ・ 駅前の 5 店舗が加入する嵐山町商店会が新たに組織された。(企業支援)
- ・ 昨年実施していた企業就職説明会を発展させ、当日に採用面接も実施できるよう、ハローワーク・埼玉県と協力し、嵐山町企業就職相談会を開催した。(企業支援)

【効果があったこと】

- ・ らんざん創業塾の受講者より、2 名の創業者が起業した。(企業支援)
- ・ 嵐山町空き店舗等活用事業費補助金を 2 事業者（新規創業者を含む）に交付し、駅前の空き店舗の活用が図られ、賑わい創出の一助となった。(企業支援)
- ・ 嵐山町商店会が、商工会を介して駅周辺にある町有地を駐車場として借り上げ、買い物客の利便性を高めることができた。(企業支援)
- ・ 昨年の企業就職説明会を発展させ、当日の採用面接を可能としたことにより、企業と求職者のミスマッチが解消された。10 企業、27 名の求職者が参加し、最終的に 5 名の採用につながった。(企業支援)

【課題として残ったこと】

- ・ 新規創業を助成していた小規模事業者等販売促進支援事業費補助金は、国によるコロナ対策補助を活用した事業であったため、令和 5 年度で終了した。支援の継続性が課題となっている。(企業支援)
- ・ 嵐山町企業就職相談会への更なる求職者の来場が課題となっている。(企業支援)

5-3-(3) 工業

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	企業誘致事業による立地及び拡張企業数(累計)				
	現状値	R1年度 —		目標値	R7年度 3件 R12年度 6件	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		0件	1件	1件		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	製造品出荷額等				
	現状値	R1年度 14,908,217万円		目標値	R7年度 15,200,000万円 R12年度 15,500,000万円	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		13,923,879万円	16,976,760万円	17,752,508万円		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1	企業誘致事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			18,227	5,747	27,672		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	商工会補助事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			6,730	6,860	5,970		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	花見台工業団地管理センター管理事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			4,831	4,278	3,680		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・花見台工業団地拡張地区において、事業推進のため県企業局、庁内関係機関及び地元権利者等と必要となる調整を行った。(企業支援)
- ・川島地区における組合土地区画整理事業の設計に向けて業務代行予定者と連携し関係機関等との協議・調整を行った。(企業支援)

【効果があったこと】

- ・花見台工業団地拡張地区において、県企業局による造成工事が進捗している。(企業支援)
- ・川島地区における組合土地区画整理事業の設計に向けた調査等が進捗している。(企業支援)

- ・菅谷地内において、ドラッグストアが立地し操業が開始された。（企業支援）

【課題として残ったこと】

- ・花見台工業団地拡張地区については、造成工事完了とその後の企業立地に向けて県企業局と一層の連携が求められる。（企業支援）
- ・川島地区については、設計に向けて業務代行予定者と連携し関係機関等との協議を進めて行く必要がある。（企業支援）

5-3-(4) 観光

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	観光入込み客数				
	現状値	R1年度 436,163人/年		目標値	R7年度 480,000人/年 R12年度 500,000人/年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		196,112人	312,135人	349,473人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	嵐山溪谷パーベキュー場の来客者数				
	現状値	R1年度 73,884人/年		目標値	R7年度 100,000人/年 R12年度 100,000人/年以上	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		31,285人	44,647人	45,615人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1	観光総務事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			188	140	158		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	観光地域づくり法人推進事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			66,728	80,000	—		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	武蔵嵐山管理活用事業	まちづくり整備課	R3	R4	R5	R6	R7
			575	712	568		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	地域活力創出拠点管理事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			5,191	4,849	8,641		
			R8	R9	R10	R11	R12

5	観光施設等管理事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			5,949	5,920	18,772		
			R8	R9	R10	R11	R12
6	観光協会補助事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			—	—	15,100		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・観光農業の推進を図るため、嵐山町観光協会と協力し「らんざんラベンダーまつり」を開催した。開催期間 6 月 9 日～6 月 25 日（企業支援）
- ・観光客が年間を通じてラベンダー園に来ていただけるよう、ラベンダー園の一部にポピーや千日紅を植栽した。（企業支援）
- ・ラベンダーまつりの収益性を確保するため、摘み取り体験料の値上げ、シャトルバスの運行、生花の販売、子供料金の徴収等を行った。（企業支援）
- ・町民のシビックプライド醸成のため、まつり終了後に町民対象の摘み取り体験イベントを実施したほか、町民の方がラベンダー園の一部エリアでラベンダーを育てるマイラベンダークラブの運営管理・新規募集等を行った。（企業支援）
- ・ラベンダー園周辺の嵐山溪谷や親水公園、らんざん都幾川学校橋広場の美観維持のため、定期的な除草作業を行ったほか、パンフレットや SNS 等で観光資源の周知を図った。（企業支援）
- ・せっけん製造会社とコラボレーションし、ラベンダー精油抽出の副産物である芳香蒸留水を使用したラベンダーハンドソープの商品開発を観光協会と協力して進めた。（企業支援）
- ・「嵐山溪谷紅葉まつり」を 11 月 25・26 日に開催した。（企業支援）
- ・嵐山町町名発祥の地である嵐山溪谷につながる槻川沿いの遊歩道からラベンダー園周辺一帯の除草作業を行い、観光客や町内の方の憩いの場を確保した。（企業支援）
- ・住民参加のボランティアとして町の観光名所等を紹介し、維持管理に協力する嵐山町観光応援隊を結成した。（企業支援）
- ・水辺アクティビティを実施する河川区域を商業利用するため、河川利用調整協議会を開催し、都市・地域再生等利用区域の指定変更要望書の提出について承認を受けた。また、事業実施のための船着場の整備を埼玉県に依頼するため、槻川水辺 de ベンチャーチャレンジ事業計画書を提出した。（企業支援）

【効果があったこと】

- ・「らんざんラベンダーまつり」に 32,740 人の来場者があった。入場料、駐車場、摘み取り体験、手芸教室、お土産等（ラベンダー開発商品・肉汁うどん等）による収入があったほか、イベント会場に 25 事業者が出店し、嵐山町観光協会会員及び嵐山町商工会会員に対しても稼げる場を提供することができた。また町民のシビックプライド醸成の一助となった。（企業支援）
- ・ラベンダーまつりの来場者の増加、収益性が向上したことにより、収支が 329 万円の黒字となった。（企業支援）
- ・ラベンダーハンドソープの商品開発に向け、まつり後に収穫したラベンダーより抽出した芳香蒸留水

- 及び観光協会が保有するラベンダー精油をせっけん製造会社に販売した。(企業支援)
- ・ 町民対象の摘み取り体験イベントに 62 名が参加したほか、マイラベンダークラブ会員及び一般町民対象に、ボトルフラワー作り教室、挿し木教室、手芸講師養成講座を開催した。(企業支援)
 - ・ 嵐山町観光応援隊に 18 名が参加し、草刈作業や観光施設運営補助等を行った。(企業支援)
 - ・ 「嵐山渓谷紅葉まつり」に 2,707 人の来場者があった。多くの方が嵐山渓谷の紅葉を満喫したほか、イベント会場での食事や買い物を楽しんだ。(企業支援)
 - ・ 嵐山渓谷バーベキュー場から飛び石を渡り、嵐山渓谷までの槻川沿いの遊歩道は、嵐山町の自然を身近に感じてもらう遊歩道として多くの方が散策している。(企業支援)
 - ・ 水辺アクティビティについて、都市・地域再生等利用区域の指定の変更の許可を受けた。また、槻川水辺 de ベンチャーチャレンジ事業計画書を提出し、バーベキュー場上流の飛び石付近に船着場が整備された。(企業支援)
 - ・ 嵐なびにおける委託販売先が増え、12 会員の商品を販売している。(企業支援)

【課題として残ったこと】

- ・ ラベンダー園運営について、今後も引き続き観光協会と連携を密にし、ラベンダー事業全体の黒字化を目指しつつ持続可能な事業展開が求められている。(企業支援)
- ・ 嵐山渓谷周辺において引き続き良好な自然を堪能できるよう、遊歩道等を適正に維持管理するための財源確保が課題である。(企業支援)
- ・ 水辺アクティビティの実施に向けた基盤が整い、事業実施に向けて観光協会による具体的な運営方法の検討を進める必要がある。(企業支援)

●第6節 推進方策

◆6-1. 行財政運営

6-1-(1) 行政サービス

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	職員研修の受講者数(延べ)				
	現状値	30人 / 年 (R2年度見込み値)		目標値	R7年度 40人 / 年 R12年度 50人 / 年	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		34人	39人	62人		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	オンライン申請を活用した手続数(累計)				
	現状値	R1年度 3事業		目標値	R7年度 10事業 R12年度 20事業	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		10事業	10事業	34事業		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費				
1	学童保育室事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			60,593	56,726	57,597		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	地域子育て支援拠点運営事業	福祉課	R3	R4	R5	R6	R7
			10,929	8,983	10,193		
			R8	R9	R10	R11	R12
3	農業者支援事業	農政課	R3	R4	R5	R6	R7
			23,833	1,956	20,392		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	花見台工業団地管理センター管理事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			4,831	4,278	3,680		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	地域活力創出拠点管理事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			5,191	4,849	8,641		
			R8	R9	R10	R11	R12

6	らんざん都幾川学校橋広場 管理事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			—	2,117	2,400		
			R8	R9	R10	R11	R12
7	庁舎管理事業	総務課	R3	R4	R5	R6	R7
			49,819	84,876	108,822		
			R8	R9	R10	R11	R12
8	交流センター管理事業	教育委員会事務局	R3	R4	R5	R6	R7
			15,714	16,851	17,337		
			R8	R9	R10	R11	R12
9	職員育成事業	総務課	R3	R4	R5	R6	R7
			137	694	221		
			R8	R9	R10	R11	R12
10	総務管理事業	総務課	R3	R4	R5	R6	R7
			4,497	4,591	5,864		
			R8	R9	R10	R11	R12
11	会計年度任用職員管理事 業	総務課	R3	R4	R5	R6	R7
			8,752	8,931	11,082		
			R8	R9	R10	R11	R12
12	給与・人事システム運用 管理事業	総務課	R3	R4	R5	R6	R7
			796	797	831		
			R8	R9	R10	R11	R12
13	職員安全衛生管理事業	総務課	R3	R4	R5	R6	R7
			2,313	2,380	2,268		
			R8	R9	R10	R11	R12
14	公務災害補償事業	総務課	R3	R4	R5	R6	R7
			953	904	898		
			R8	R9	R10	R11	R12
15	住民・税情報システム運用 管理事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			47,377	47,630	48,533		
			R8	R9	R10	R11	R12
16	電子自治体推進事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			29,094	55,413	52,547		
			R8	R9	R10	R11	R12

17	コンビニ交付サービス等事業	町民課	R3	R4	R5	R6	R7
			2,257	2,367	2,429		
			R8	R9	R10	R11	R12
18	一部事務組合管理費負担事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			7,053	6,496	7,096		
			R8	R9	R10	R11	R12
19	一部事務組好比企広域公平委員会負担事業	総務課	R3	R4	R5	R6	R7
			45	40	88		
			R8	R9	R10	R11	R12
20	一部事務組合斎場・霊柩車事業費負担事業	環境課	R3	R4	R5	R6	R7
			7,287	11,105	14,322		
			R8	R9	R10	R11	R12
21	一部事務組合塵芥処理費負担事業	環境課	R3	R4	R5	R6	R7
			164,909	244,272	230,261		
			R8	R9	R10	R11	R12
22	一部事務組合し尿処理費負担事業	環境課	R3	R4	R5	R6	R7
			42,789	33,717	46,353		
			R8	R9	R10	R11	R12
23	一部事務組合常備消防負担事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			295,607	296,931	299,100		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- 職員研修については、階層別基本研修や選択研修、埼玉県総合技術センター等の研修の積極的な参加およびオンラインによる研修が充実したことにより、幅広く専門的な知識を習得することができた。
(地域支援課)
- 昨年度に引き続き、埼玉県の電子申請・届出サービスを活用し、オンラインによる申請手続きを整備した。また、マイナポータルを利用して、転入出の届出以外の各種届出についてもオンライン申請ができるよう、拡充した。(地域支援課)
- 庁舎管理事業により、空調設備工事を実施し、快適な職場環境の整備に努めた。(総務課)

【効果があったこと】

- オンライン申請については、例年行っているパブリックコメント、検診の申し込みに加え、ワークショップや講演会などの事業についても活用した。(地域支援課)

【課題として残ったこと】

- ・現在利用している埼玉県の電子申請・届出サービスの拡大及びマイナンバーカードを使用したオンライン申請の開始については、担当課の業務フローに変更が生じることから各課との調整が必要となる。
(地域支援課)
- ・オンライン申請が可能な手続きについては、引き続き町民への周知が必要である。(地域支援課)

6-1-(2) 健全な財政基盤

【数値目標】

No.	目標値と年度別実績					
1	指標の内容	税の収納率				
	現状値	R1年度 98.5%		目標値	R7年度 98.5% / R12年度 98.6%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		98.2%	98.3%	98.4%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
2	指標の内容	実質公債費比率				
	現状値	R1年度 9.1%		目標値	R7年度 9.0% / R12年度 8.5%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		9.2%	9.2%	9.0%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
3	指標の内容	将来負担比率				
	現状値	R1年度 74.3%		目標値	R7年度 73.0% / R12年度 72.0%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		47.0%	42.7%	24.8%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
4	指標の内容	経常収支比率				
	現状値	R1年度 89.1%		目標値	R7年度 88.0% / R12年度 86.0%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		77.4%	82.2%	84.4%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
5	指標の内容	財政調整基金比率				
	現状値	R1年度 5.8%		目標値	R7年度 14.0% / R12年度 18.0%	
	実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		15.5%	18.1%	15.8%		
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度

【決算額】

(千円)

No.	事務事業名	担当課	事業費
-----	-------	-----	-----

1	財政管理事業	総務課	R3	R4	R5	R6	R7
			23,483	9,235	10,199		
			R8	R9	R10	R11	R12
2	地方版総合戦略検証等事業	地域支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			2229	45			
			R8	R9	R10	R11	R12
3	普通財産管理事業	総務課	R3	R4	R5	R6	R7
			299	2,290	748		
			R8	R9	R10	R11	R12
4	財政調整基金等管理事業	総務課	R3	R4	R5	R6	R7
			590,701	320,008	237,961		
			R8	R9	R10	R11	R12
5	公共公益施設建設基金管理事業	総務課	R3	R4	R5	R6	R7
			0	200,000	200,002		
			R8	R9	R10	R11	R12
6	ふるさとづくり基金管理事業	総務課	R3	R4	R5	R6	R7
			66,150	64,201	110,446		
			R8	R9	R10	R11	R12
7	企業誘致事業	企業支援課	R3	R4	R5	R6	R7
			18,227	5,747	27,672		
			R8	R9	R10	R11	R12
8	ふるさと納税推進事業	総務課	R3	R4	R5	R6	R7
			0	29,634	55,652		
			R8	R9	R10	R11	R12
9	町民税賦課事業	税務課	R3	R4	R5	R6	R7
			3,187	4,558	6,671		
			R8	R9	R10	R11	R12
10	資産税賦課事業	税務課	R3	R4	R5	R6	R7
			5,701	9,651	12,817		
			R8	R9	R10	R11	R12
11	徴収事業	税務課	R3	R4	R5	R6	R7
			4,876	5,991	7,256		
			R8	R9	R10	R11	R12

			R3	R4	R5	R6	R7
12	町税還付事業	税務課	8,110	10,934	9,251		
			R8	R9	R10	R11	R12

【実施したこと】

- ・納期限内納付のない方に対し、督促状や催告書を送付し納付を促した。また、電話での催告や納税相談を行い、それでも納付がない方については差押え等の滞納処分を行った。(税務課)
- ・納税通知書に「eL マーク (eL-QR)」を表示することで、インターネットやスマートフォン決済アプリを利用し24時間納付可能なシステム導入契約をし、納税の利便性向上に努めた。(税務課)
- ・自主財源確保のため、ふるさと納税の返礼品及びポータルサイト数を増やした。(総務課)
- ・公共施設の老朽化に伴う更新費用の財源として、昨年度に引き続き2億円の積立てを行った。(総務課)

【効果があったこと】

- ・ふるさと納税の返礼品及びポータルサイト数の増加により、寄付額が前年度比106.7%と大幅に増加し、自主財源の増加に繋がった。(総務課)
- ・公共公益施設建設基金の積立により、基金残高が約4億円となり、公共施設の更新費用の財源の確保が図られた。(総務課)

【課題として残ったこと】

- ・自主財源の安定的な確保のため、個々の事情に配慮しながら滞納整理を進め、徴収率の向上を目指す。(税務課)
- ・義務的経費などの経常経費が年々増加傾向にあり、経常収支比率が上昇しているため、経常経費の見直しと町債発行の抑制により、経常経費の縮減に努める必要がある。(総務課)
- ・公共施設等総合管理計画及び個別計画に基づく公共施設の長寿命化、予定されている公共施設の計画的な整備、小中学校再編等に向けた施設の統廃合や老朽化への対応のため、引き続き公共公益施設建設基金の確保にも努める必要がある。(総務課)
- ・人口減少による税収の減少、少子高齢化による扶助費の増加等の課題に対し、既存事業の見直しを行いつつ、ふるさと納税をはじめとした多方面からの財源の確保が必要である。(総務課)